

田辺市景観まちづくり刷新支援事業
事後評価

報告書

令和8年3月

田辺市

目 次

内容

1	業務概要	1
	(1) 業務名称等	1
	(2) 業務目的	1
	(3) 関連法令及び主な準拠法令・基準等	1
	(4) 計画対象	2
2	実施方針	3
	(1) 計画準備	3
	(2) 事業採択時の費用対効果分析からの時点変化の確認	4
	(3) 事業の発現効果状況の確認	25
	(4) 事業実施による環境の変化の確認	30
	(5) 社会経済情勢の変化の確認	32
	(6) 今後の事後評価の必要性の有無の整理	34
	(7) 改善措置の必要性の有無の整理	35
	(8) 同種事業等に参考となるべき事項の有無の整理	36
	(9) 関係機関協議支援	36
	(10) 成果取りまとめ	39

1 業務概要

(1) 業務名称等

- 業務名 : 田辺市景観まちづくり刷新支援事業 事後評価業務
- 工期 : 令和7年8月19日 ~ 令和8年3月20日
- 委託者 : 田辺市建設部都市計画課
- 受託者 : 株式会社ウエスコ関西支社和歌山営業所
〒640-8044 和歌山県和歌山市板屋町 22
〔TEL : 073-402-5644〕〔FAX : 073-427-2170〕

(2) 業務目的

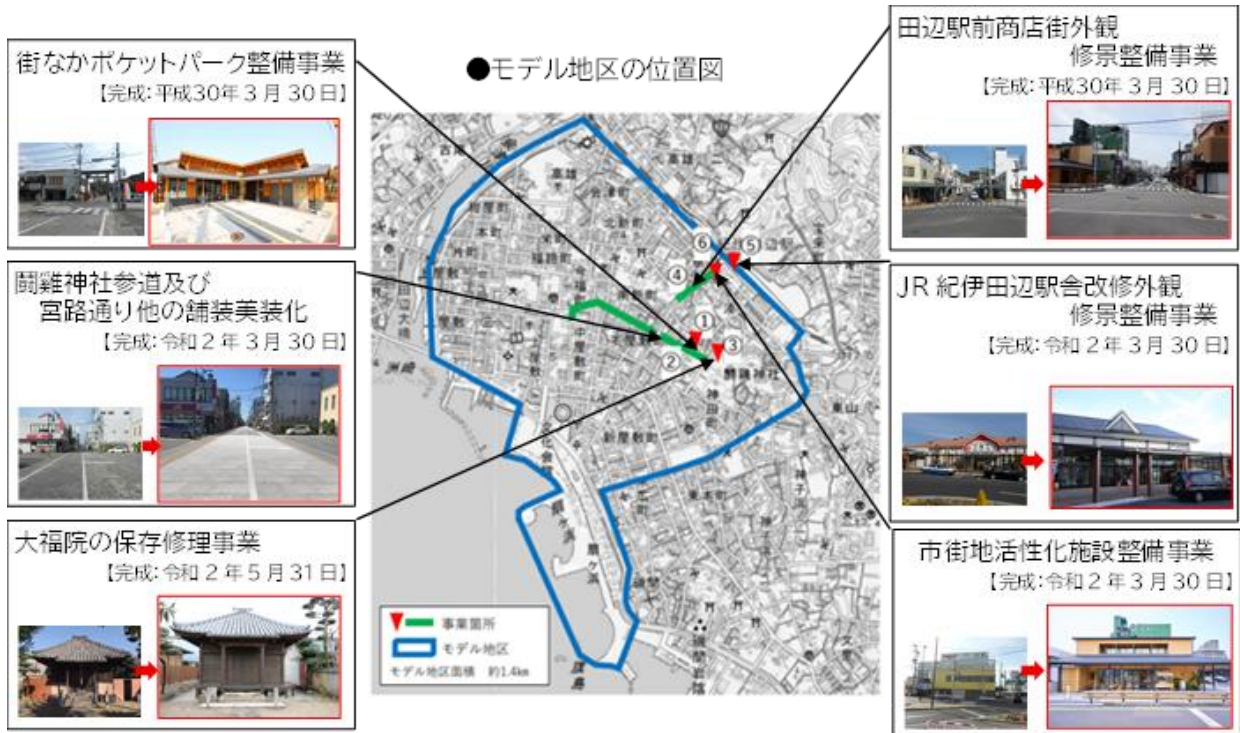
本業務は田辺市景観まちづくり刷新支援事業において実施された、各種事業効果の発現状況や事業実施による環境の変化、社会情勢の変化等について分析し、費用対効果について改めて検証し、事後評価を行うことを目的とする。

(3) 関連法令及び主な準拠法令・基準等

- 景観法（同施行法、同施行令、同施行規則）
- 景観法運用指針
- 屋外広告法
- その他関係法令、規則、通達及び通知
- 和歌山県景観計画
- 和歌山県景観計画ガイドライン
- 景観まちづくり刷新支援事業 事後評価実施要領細目
- 景観まちづくり刷新支援事業 事後評価項目・内容
- 景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル

(4) 計画対象

田辺市景観まちづくり刷新支援事業実施箇所及び田辺市中心市街地



2 実施方針

(1) 計画準備

事業に関する資料（事業概要、事業費、事業期間等）及び整備効果に係る資料を整理した。

表 景観まちづくり刷新支援事業の概要

項目	内容
目的	観光立国の実現のためには、地域固有の優れた景観や歴史的な建造物等の景観資源を保全・活用するとともに、人々が快適に移動することができるような空間・環境づくりを推進することが重要である。そのため、我が国に存在する良好な景観資源の保全・活用による都市の魅力向上、地域活性化を図るため、目に見える形での景観形成を促進する景観まちづくり刷新モデル地区を 10 地区指定し、集中整備により 3 年間でまちの景観を刷新する。
事業主体	地方公共団体又は地方公共団体を構成員に含む協議会
事業メニュー	(1)景観資源の保全・活用に関する事業 外観修景、歴史的建造物等の保存、城址公園の整備、ガードレール・路面等の美装化、街路樹の整備 等 (2)景観まちづくりに必要なインフラの整備 散歩道、広場、駐車場、交通結節点、視点場（展望台）の整備 等
補助率	予算の範囲内で各事業の 1/2 以内
事業期間	原則として 3 年間

表 田辺市の景観まちづくり刷新支援事業の概要

項目	内容
事業	①街なかポケットパーク整備事業 ②鬮雞神社参道及び宮路通り他の舗装美装化事業 ③「大福院」の保存修理事業 ④田辺駅前商店街外観修景整備事業 ⑤JR 紀伊田辺駅舎改修外観修景整備事業 ⑥市街地活性化施設整備事業
事業期間	平成 30 年～令和 2 年

(2) 事業採択時の費用対効果分析からの時点変化の確認

事業採択時の費用対効果分析に際し、アンケート（地域住民、観光客等）を実施し、費用の算定に用いた指標及び便益の算定に用いた指標について事後評価時点との変化を確認した。

今回の費用対効果分析の手法は、平成 30 年度 景観刷新委託第 1 号費用便益分析調査業務と同様の便益計測手法として、地域住民、観光客等ともに CVM とした。

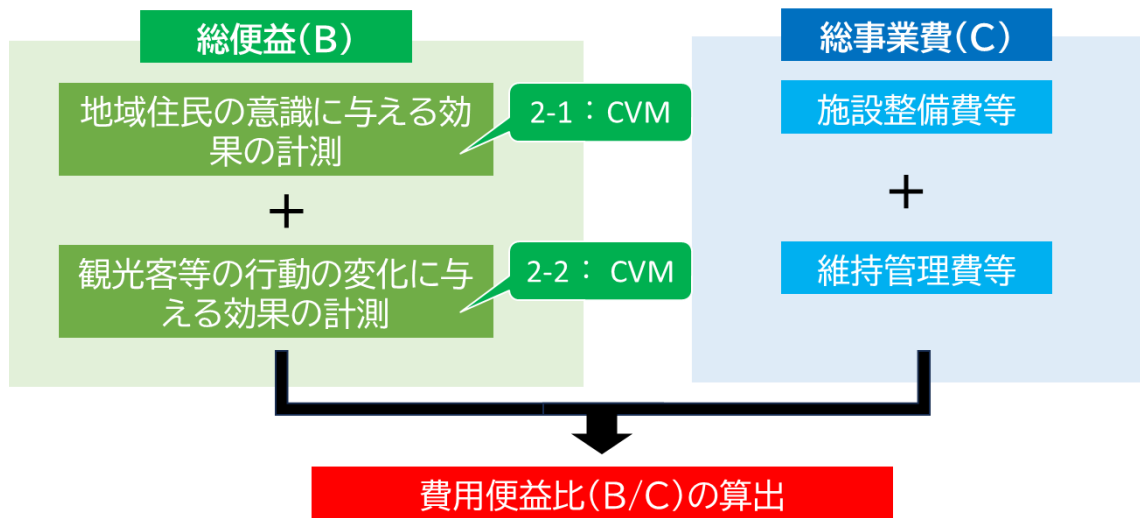


図 費用便益費の算出

(2-1) 地域住民アンケート

①調査対象

景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル（平成 30 年、国土交通省）において、アンケート調査の実施範囲は下記の内容に従って設定することとされている。

モデル地区の特性に応じて、事業の効果が及ぶ範囲を予想した上で、その範囲を含むようにアンケート調査を実施する。地域の住民に関しては、事業の効果が及ぶ範囲に居住する人を対象に調査を実施する。例えば、モデル地区が当該市町村の代表的な景観を有する場合は、当該市町村全域の住民を調査対象とすることが考えられる。

上記を踏まえ、「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定された闘雞神社周辺や JR 紀伊田辺駅前地区を含む中心市街地は、田辺市のなかでも代表的な景観を有するものと考えられるため、調査対象は、田辺市全域の住民とした。

なお、調査対象世帯は、田辺市全域の 34,741 世帯から無作為に抽出した。

表 田辺市の人口・世帯数

地域	人口	世帯数
旧田辺市	57,261	29,471
旧龍神村	2,482	1,380
旧中辺路町	2,199	1,333
旧大塔村	2,149	1,203
旧本宮町	2,230	1,354
合計	66,321	34,741

資料：住民基本台帳（令和 7 年 10 月末時点）

②調査方法

地域住民アンケート調査は、アンケート調査票の郵送配布・回収による方法で実施した。

③調査規模

調査規模は、調査配布世帯数 4,000 世帯、想定回収率 30%程度、回収数（見込み）1,200 票程度とした。

④実施期間

調査票発送は、令和 7 年 10 月 31 日であるため、実施期間は令和 7 年 11 月 4 日～11 月 28 日（回収最終：12 月 5 日）とした。

⑤調査票の作成

「仮想的市場評価法（CVM）適用の指針」（平成 21 年、国土交通省）及び「景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル」（平成 30 年、国土交通省）を踏まえ、調査票を作成した。

また、支払い意志額の回答方式は、「支払いカード方式」と「二項選択方式」の調査票案を作成した上で、自由度が高く回答しやすい「支払いカード方式」を採用した。

調査票は、アンケート調査の実施に向けて、CVM（仮想的市場評価法）や支払い意志額について説明文や注釈を記載し、わかりやすくなるように次のように配慮した。

～ここからはあなた自身のことをお聞かせください～

問4. あなたの性別をお答えください。

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. どちらともいえない・答えたくない

問5. あなたの年齢をお答えください。

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代以上

問6. あなたはモデル地区に行ったことはありますか。

- 1. モデル地区に行ったことがある。 ⇒問7へ
 - 2. モデル地区内に住んでいる、または、勤めている。
 - 3. モデル地区に行ったことがない。
- } アンケートは終了です。

問7. 問6で「1. モデル地区に行ったことがある。」と回答した人にお聞きします。どれくらいの頻度でモデル地区を訪れますか。

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に数回
- 3. 月に数回
- 4. 年に数回
- 5. 数年に1回



※ご回答いただきました内容はデータの集計・分析に使用します。また、回答したことにより、あなたの個人情報が特定されることはありません。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

景観まちづくり刷新事業に関する事後評価アンケート

—ご協力のお願い—

市民の皆様には、日頃より田辺市の行政全般に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、世界遺産を核に地域資源を活かした魅力あるまちづくりに取り組んでおり、「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定された鬮雞神社周辺や JR 紀伊田辺駅前地区を含む市街地を対象に、平成 29 年度から令和 2 年度の 4 年間で、実施された景観まちづくり刷新事業の各種事業効果発現状況や環境の変化、社会情勢の変化等について分析し、費用対効果について改めて検証し、事後評価を進めているところです。

その一環として、この景観まちづくり刷新事業の効果を経済評価するため、本事業に対する皆様のお考えをお尋ねしたく、アンケート調査を実施いたします。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 10 月

- このCVMアンケート調査※1は、景観まちづくり刷新支援事業「田辺市」について、その効果を皆様に評価していただくことを目的としています。この調査票は、無作為に抽出した 4,000 世帯の市民の皆様にご送付しております。
- この調査の結果は、すべて統計的に処理し、個々の回答内容を公表することや調査目的以外に使用することは一切ございません。
- 回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、11月21日(金)までにご投函ください。

●※1 CVM (仮想的市場評価法) とは●

このアンケートは、CVM (仮想的市場評価法) と呼ばれている方法です。景観まちづくり刷新事業の効果を金額によって評価するために、市民の皆様にご「最大いくら払ってもよいか」を確認し、景観まちづくり刷新事業の価値を測る方法です。

そのため、アンケートに回答した金額を実際に支払っていただくものではありません。

【回答にあたっての注意】

- 世帯の代表者にアンケート調査票をお送りしていますが、ご家族の 18 歳以上の方であればどなたにご回答いただいても構いません。
- このアンケートでは、「景観まちづくり刷新事業」の効果を金額に置き換えて計測するため、仮定の質問を行いますが、実際に負担金を徴収することは決してありません。

図 地域住民アンケート

⑥調査票の配布

アンケート調査票と返信用封筒（下図右側）を発送用封筒（下図左側）に封入し、郵送した。

返信用封筒には、委託先の連絡先を記載した。



図 地域住民アンケート封筒

⑦回収数・有効回答数の整理

令和7年12月5日（金）までに回収した調査票は、1,146通であったが3通は白紙回答であったため、有効回答1,143通（回収率28.6%）であった。

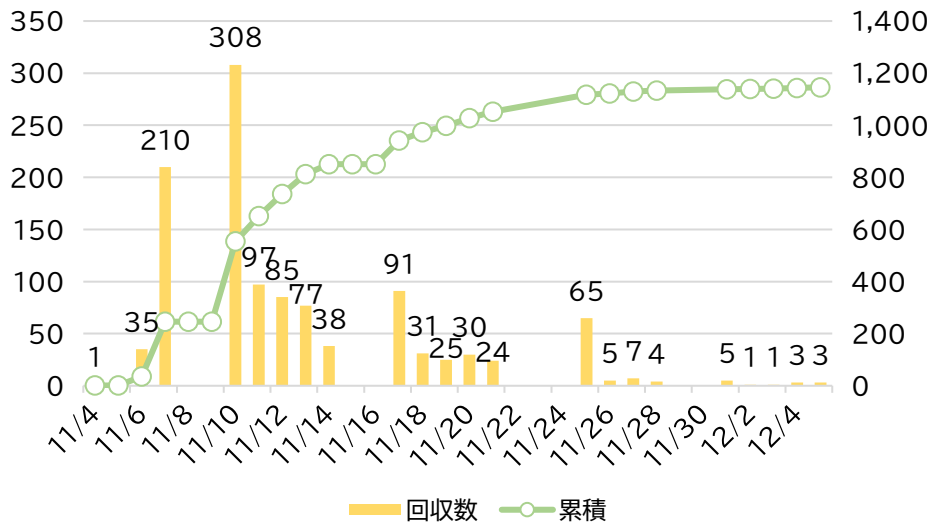


図 地域住民アンケート 回収数

⑧年間便益額の結果

地域住民アンケート調査報告書は別添資料1に整理している。

本事業に対して、負担金を支払うことに賛成した割合は、全体で60.7%、反対した割合は、39.3%となった。

賛成と回答した人の中でも、500円/月が175件15.3%、1,000円/月が139件12.2%、100円/月が133件11.6%となった。

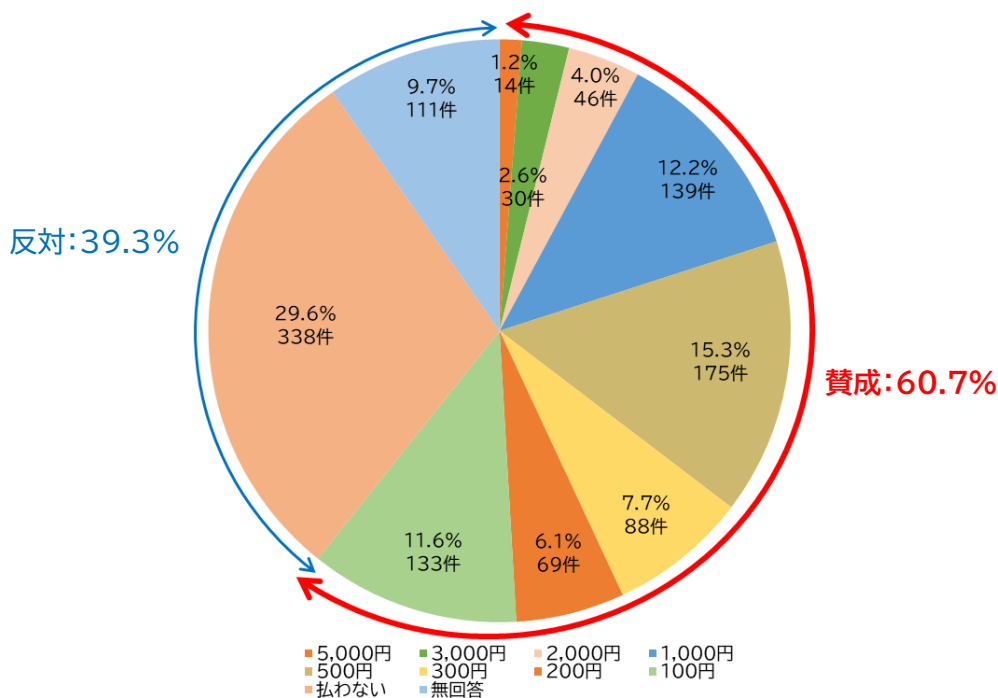


図 地域住民の支払い意志額

支払いカード方式の回答データは、マルチバウンド方式の回答に変換することから、下表のとおり集計を行った。なお、賛成数はマニュアルに基づき、頻度の累積数として変換している。また、支払意志額の集計に当たっては、抵抗回答を除外することから、提示金額0円（支払うことに対する抵抗）は、次ページの平均値の算定から除外している。

表 マルチバウンド方式への変換

支払いカード方式の集計
(問4の金額別回答数)

提示金額	頻度 (回答数)
0円	1029
100円	692
200円	560
300円	491
500円	403
1000円	229
2000円	90
3000円	44
5000円	14
10000円	0
20000円	0
30000円	0
50000円	0

有効回答数 3552
無回答 111

マルチバウンド方式の集計

提示金額	賛成数	賛成率	反対数	反対率
0円	3552	100.0%	0	0.0%
100円	2523	71.0%	1029	29.0%
200円	1831	51.5%	1721	48.5%
300円	1271	35.8%	2281	64.2%
500円	780	22.0%	2772	78.0%
1000円	377	10.6%	3175	89.4%
2000円	148	4.2%	3404	95.8%
3000円	58	1.6%	3494	98.4%
5000円	14	0.4%	3538	99.6%
10000円	0	0.0%	3552	100.0%
20000円	0	0.0%	3552	100.0%
30000円	0	0.0%	3552	100.0%
50000円	0	0.0%	3552	100.0%

※賛成数は頻度の累積数として計上

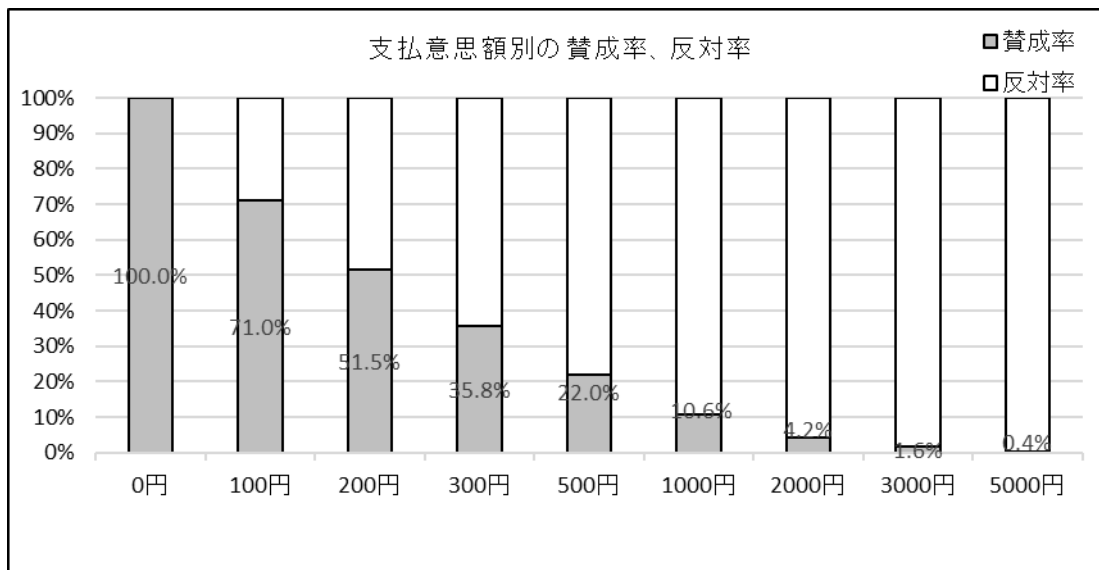


図 支払い意思額別の賛成率、反対率

横軸に提示金額、縦軸に賛成率をプロットし、「シングルバウンド ワイブル生存分析」(「Excel できる CVM Ver4.0」(栗山浩一氏))を使用して、ワイブル関数(最尤推定法)により平均値を算定した。

なお、平均値は、最大提示額で裾切りした値 448 円を採用した。

推定結果

変数	係数	t値	p値
Location	5.8174	389.192	0.000 ***
Scale	1.4415	86.585	0.000 ***
n	42624		
対数尤度	-11072.451		

推定WTP

(中央値) 198

(平均値) 429 裾切りなし
448 最大提示額で裾切り

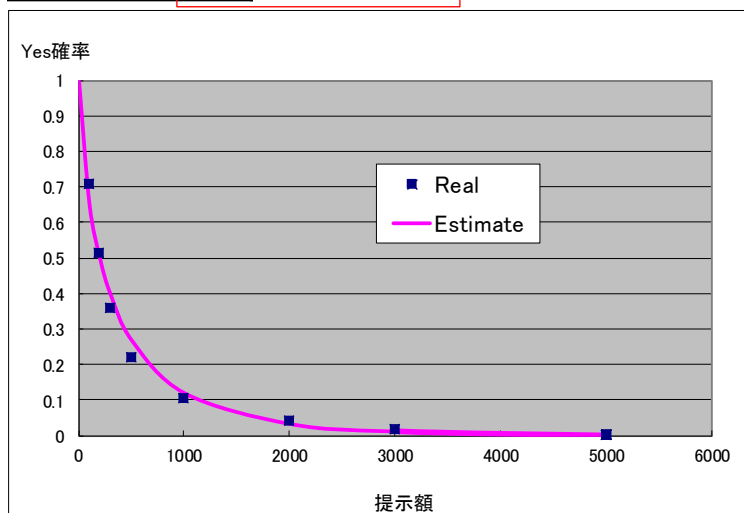


図 支払い意思額の平均値の算出結果

地域住民の意識に与える効果（CVM）便益計測について、平成30年と令和7年の計測結果は、以下の示す通りである。

表 CVM 年間便益計測結果比較

項目	令和7年	平成30年
評価手法	CVM	CVM
①支払い意志額（円/月・世帯）	448 円/月・世帯	83.4 円/月・世帯
受益者	田辺市の全世帯	田辺市の全世帯
②世帯数（世帯）	34741 世帯	35340 世帯
年間便益（億円/年）①×②×12ヶ月	1.87 億円	0.35 億円

JR 紀伊田辺駅舎改修外観修景整備事業や田辺駅前商店街外観修景整備事業、市街地活性化施設整備事業等の景観まちづくり刷新支援事業において、観光客だけでなく地域住民の交流も増加し、中心市街地にふさわしい個性的で活力あるまちづくりの効果を実感していただけたことから、支払い意志額の上昇につながったと考える。

(2-2) 観光客アンケート

①調査対象

景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル（平成30年、国土交通省）において、アンケート調査の実施範囲は下記の内容に従って設定することとされている。

観光客に関しては、モデル地区を訪れた人を対象に調査を実施する。なお、便益を計測する際には、モデル地区を訪れる地域の住民の人数またはそれと同等とみなせる人数に関するデータが必要となる。

上記を踏まえ、「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定され観光の玄関口であるJR紀伊田辺駅前と田辺市観光センター前において観光客アンケートを実施し、調査対象は、訪れた観光客等（市民も含む）とした。

表 田辺市の観光入込客数

地域	観光客数	日帰り客数	宿泊客数
旧田辺市	874,462	677,413	197,049
旧龍神村	385,876	346,449	39,427
旧中辺路町	287,650	265,658	21,992
旧大塔村	42,673	40,440	2,233
旧本宮町	1,617,365	1,468,800	148,565
合計	3,208,026	2,798,760	409,266

資料：和歌山県 観光客動態調査（令和6年度）

②調査方法

観光客アンケート調査は、調査員による聞き取りで実施した。調査員は日本語と英語で対応した。

なお、紀伊田辺駅からバスに乗り継ぐ観光客が多い時は、グループごとに説明した上で回答者に記入してもらう方式を採用して効率化を図った。

また、アンケート回答者へのインセンティブとして、市から提供された梅酒・梅ドリンク引換券を配布した。



③実施期間・調査場所

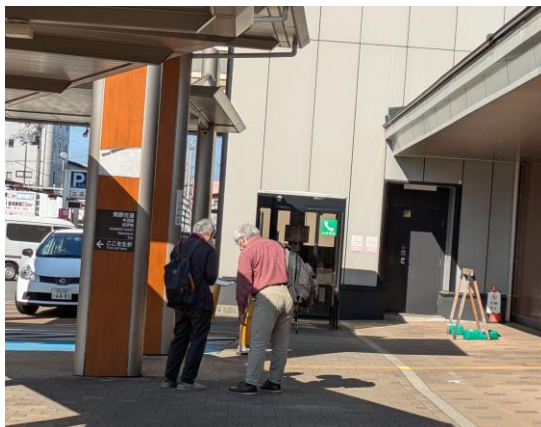
実施期間は令和7年11月7日～11月9日、11月15日～16日のうち、8:30～18:30頃とした。調査場所は「田辺市観光センター前」を中心に JR 紀伊田辺駅前を含めて調査した。

表 調査人数

	11/7	11/8	11/9	11/15	11/16
調査人数	4人	4人	5人	3人	3人



図 調査場所位置図



【参考】公共交通時刻表

表 公共交通時刻表

調査対象	時刻	路線バス (熊野古道方面)		JR (特急くろしお)		高速バス (東京・大阪・京都)	
		発	着	下り	上り	発	着
対象外	6 時台	06:16 06:50			06:51	06:53(大阪)	
	7 時台		07:55		07:22		07:30(東京)
調査対象	8 時台	08:32 08:37	08:25 08:32		08:32	08:03(大阪)	
	9 時台				09:32	09:33(大阪)	
	10 時台	10:15	10:10 10:45	10:00	10:37		10:53(大阪)
	11 時台	11:35		11:23	11:32	11:33(大阪)	11:53(大阪)
	12 時台	12:50		12:35	12:32		12:53(大阪) ※平日
	13 時台			13:36	13:37	13:03 (大阪)	13:07(大阪) ※休日
	14 時台	14:50		14:31	14:32		14:23(大阪) ※休日 14:37(大阪) ※平日
	15 時台		15:00 15:15	15:36	15:37	15:02(大阪)	
	16 時台	16:40	16:10		16:01 16:32 16:54	16:42(大阪)	16:50(大阪)
	17 時台	17:37	17:15	17:31	17:08 17:32		
18 時台	18:42	18:50	18:36	18:32	18:02(大阪) 18:57(大阪)	18:50(大阪)	
対象外	19 時台	19:26	19:16	19:33	19:50	19:50 (東京)	
	20 時台	20:28	20:15 20:58	20:44			20:28(大阪)
	21 時台			21:43			21:53(大阪)
	22 時台		22:00	22:42			22:45(大阪)

※ 観光案内所営業時間：9 時 00 分～18 時 00 分（年中無休）

※ 交通費目安

大阪駅（JR）：3,080（特 5,810）円 大阪駅等（高速バス）：3,500 円（りんくう発）：3,200 円

東京駅（JR）：10,670（新 18,360）円 東京駅等（高速バス）：13,000 円（大宮駅）：13,600 円

④調査票の作成

「仮想的市場評価法（CVM）適用の指針」（平成21年、国土交通省）及び「景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル」（平成30年、国土交通省）を踏まえ、調査票を作成した。

調査項目は、回答者の属性、モデル地区の訪問頻度、モデル地区までの交通手段、所要時間、所要費用、目的（日本人のみ）、母国（外国人のみ）、支払い意志額を確認した。

また、支払い意志額の回答方式は、「支払いカード方式」と「二項選択方式」の調査票案を作成し、自由度が高く回答しやすい「支払いカード方式」を採用した。

外国人への対応として、4か国語（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語）に翻訳したアンケートを用意した。

紀伊田辺駅周辺における 景観まちづくり刷新事業に関する事後評価アンケート									
<p>●このアンケートは、「景観まちづくり刷新事業」がどの程度の価値を持つか調査するものです。事業の効果を経済評価するために、このあとの質問で仮の負担金を設定していますが、実際に負担金を徴収することは決してありません。</p> <p>●田辺市街地の景観が美しくなり、観光情報や免税サービスを受けられる施設が整備されるなど、この地区を訪れる皆さんにとって利便性が高くなります。</p>									
問1. あなたの性別をお答えください。	1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない・答えたくない								
問2. あなたの年齢をお答えください。	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上								
問3. あなたは田辺市が「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定されたことをご存じですか。	1. よく知っている 2. 少し知っている 3. あまり知らない 4. 全く知らない								
問4. あなたは5年間の内に、観光やレジャーを目的に田辺市に何回訪れたいと思いますか。事業を実施しなかった場合と、事業を実施した場合を比較して、それぞれ()内に数字を記入してください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業を実施しなかった場合</th> <th>事業を実施した場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年間の内に()回</td> <td>5年間の内に()回</td> </tr> </tbody> </table>	事業を実施しなかった場合	事業を実施した場合	5年間の内に()回	5年間の内に()回				
事業を実施しなかった場合	事業を実施した場合								
5年間の内に()回	5年間の内に()回								
問5. あなたが田辺市を訪れるために利用した主な交通手段と、片道の所要時間・交通費をお答えください（大体の数字で構いません）。該当するものに○を付け、()内に数字を記入してください。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>利用した主な交通手段</td> <td>① 飛行機 ② 鉄道 ③ バス ④ 乗用車・レンタカー ⑤ タクシー ⑥ その他()</td> </tr> <tr> <td>片道の所要時間</td> <td>約()時間</td> </tr> <tr> <td>片道の交通費</td> <td>約()円</td> </tr> <tr> <td>乗車人数（乗用車・レンタカーの場合）</td> <td>()人</td> </tr> </tbody> </table>	利用した主な交通手段	① 飛行機 ② 鉄道 ③ バス ④ 乗用車・レンタカー ⑤ タクシー ⑥ その他()	片道の所要時間	約()時間	片道の交通費	約()円	乗車人数（乗用車・レンタカーの場合）	()人
利用した主な交通手段	① 飛行機 ② 鉄道 ③ バス ④ 乗用車・レンタカー ⑤ タクシー ⑥ その他()								
片道の所要時間	約()時間								
片道の交通費	約()円								
乗車人数（乗用車・レンタカーの場合）	()人								
問6. あなたのお住まいに○をつけてください。	1. 田辺市内 2. 和歌山県内 3. 和歌山県外								
問7. どのような目的でお越しになりましたか。当てはまるものに1つ○をつけてください。	1. 観光 2. 私用（買い物や食事など） 3. 出勤・業務 4. 通学 5. 帰宅 6. その他()								
問8. 景観まちづくり事業を実施し、その後の魅力的な環境を維持していくための適正な維持管理や保全活動を行うにあたり、この費用の一部を観光客が負担するとした場合、あなたはこれに賛成ですか。その場合、負担できると思われる額について、以下の1～9の選択肢から1つお答えください。 なお、負担金を支払うことで、あなたが使うことのできるお金が減ることを考慮してお答えください。	1. 5,000円 2. 3,000円 3. 2,000円 4. 1,000円 5. 500円 6. 300円 7. 200円 8. 100円 9. 支払わない								
問9. 問8の選択肢を選んだ理由について、以下の項目から1つお答えください。	1. 快適に暮らせるように、中心市街地の近代的なまちなみを維持してほしいから 2. 歴史あるまちなみにぎわいが調和した商店街として今後も維持してほしいから 3. 歴史と文化が調和した品格と落ち着いた景観を維持してほしいから 4. 景観を維持することは賛成だが、負担金を支払う価値はないと思うから 5. 景観まちづくり事業による景観の維持の必要性を感じない 6. 負担金を集める仕組みに反対である 7. これだけの情報では判断できない 8. その他()								
<p>※ご回答いただきました内容はデータの集計・分析に使用します。また、回答したことにより、あなたの個人情報が特定されることはありません。</p> <p style="text-align: right;">アンケートへのご協力、ありがとうございました。</p>									

↳ 裏面へ続きます

図 観光客アンケート（日本語）

In the vicinity of Kii-Tanabe Station Post-evaluation questionnaire on landscape town development renovation project

- This questionnaire is to investigate how much value the "landscape town development renovation project" has. In order to evaluate the economic effect of the project, we set a provisional levy in the following question, but we will never actually collect the levy.
- The scenery of Tanabe city will be beautiful, and facilities where you can receive tourist information and tax-free services will be developed, making it more convenient for everyone who visits this area.

Q1. Please answer your gender.

1. man 2. woman 3. Neither

Q2. Please answer your age.

1. 10s 2. 20s 3. 30s
4. 40s 5. 50s 6. Over 60s

Q3. Did you know that Tanabe City has been designated as a "Landscape Town Development Renewal Model District"?

1. Know well 2. Know a little
3. I don't know much 4. I don't know at all

Q4. How many times do you want to visit Tanabe City for sightseeing and leisure purposes in the next five years? Please write a number in () for before and after the project is carried out.

Before Implementing Business () times	After the project is carried out () times
---	---

Q5. Please answer the main means of transportation you used to visit Tanabe City, as well as the time required and transportation costs for the one-way trip (approximate numbers are acceptable). Please put a circle on the corresponding one and write the number in ().

Main modes of transportation used	(1) Airplane (2) Railway (3) Buses (4) Passenger cars and rental cars (5) Taxi (6) Others ()
Time required for one way	Approx. () Time
One-way transportation costs	Approx. () yen
Number of passengers (for passenger cars and rental cars)	() People

↳ Continue to the back side.

☒ 観光客アンケート（英語）

Q6. Please circle your country of origin.

1. U.S. 2. Canada 3. UK 4. France
5. Germany 6. Spain 7. Italy 8. Australia
9. New Zealand 10. China 11. Taiwan 12. Hong Kong
13. Korea 14. Singapore 15. Thailand 16. Malaysia
17. Indonesia 18. Vietnam 19. Philippines 20. India
21. Turkey 22. Other ()

Q7. Would you be in favor of the improvement project for the landscape-conscious community development if tourists had to pay a charge for this project?

- When answering, please take into account that the amount of money you can spend will decrease after paying the charge.
1. 5,000 yen 2. 3,000 yen 3. 2,000 yen 4. 1,000 yen
5. 500 yen 6. 300 yen 7. 200 yen 8. 100 yen
9. don't pay

Q8. Please circle the number that most closely matches your reason for choosing the answer for Q7.

1. I want the modern city center to be maintained so that I can live comfortably.
2. I want this shopping street to continue to be maintained as a place where the historic townscape and lively atmosphere are in harmony.
3. We want to maintain the dignity and calm scenery that harmonizes history and culture.
4. I agree with maintaining the landscape, but I don't think it's worth paying the fee.
5. I don't feel the need to maintain the landscape through landscape urban development projects.
6. I am opposed to the system of collecting contributions.
7. It is not possible to make a decision based on this information alone.
8. Other ()

※The content of your responses will be used for data aggregation and analysis. In addition, your personal information will not be identified by answering.

Thank you for your cooperation in the survey.

Questionnaire d'évaluation après projet sur la rénovation du paysage urbain autour de la gare de Kii-Tanabe

- Ce questionnaire a pour objectif d'évaluer dans quelle mesure le "projet sur la rénovation du paysage urbain" a apporté de la valeur. Pour procéder à une évaluation économique du projet, certaines questions mentionneront un montant de contribution fictif. Veuillez noter qu'aucun paiement réel ne vous sera jamais demandé.
- Le paysage de la ville de Tanabe sera magnifique, et des installations où vous pourrez recevoir des informations touristiques et des services hors taxes seront développées, ce qui la rendra plus pratique pour tous ceux qui visitent cette région.

Q1. Veuillez répondre votre sexe.

1. Mâle 2. femme 3. Autre

Q2. Veuillez indiquer votre âge.

1. 10-19 ans 2. 20-29 ans 3. 30-39 ans
4. 40-49 ans 5. 50-59 ans 6. 60ans et plus

Q3. Savez-vous que la ville de Tanabe a été désignée « Zone modèle de rénovation du paysage urbain » ?

1. Je connais bien 2. J'en connais un peu
3. Je ne connais pas beaucoup 4. Je ne connais pas du tout

Q4. Combien de fois souhaitez-vous visiter la ville de Tanabe à des fins touristiques et de loisirs au cours des cinq prochaines années ? Veuillez écrire un numéro en () pour avant et après la réalisation du projet.

Avant de mettre en oeuvre l'entreprise () fois	Après la réalisation du projet () fois
--	--

Q5. Veuillez indiquer votre principal moyen de transport pour visiter la ville de Tanabe, ainsi que le temps de trajet et le coût pour un aller simple (des estimations approximatives suffisent). Cochez l'option correspondante et indiquez les chiffres dans les espaces prévus ().

Principaux modes de transport utilisés	(1) Avion (2) Chemin de fer (3) Autobus (4) Voitures particulières et voitures de location (5) Taxi (6) Autres ()
Temps nécessaire pour un aller simple	environ () heures () minutes
Frais de transport aller simple	Environ () yens
Nombre de passagers (pour les voitures particulières et les voitures de location)	() Personnes

↳ Veuillez passer au verso.

Q6. Veuillez entourer votre pays d'origine.

1. États-Unis 2. Canada 3. Royaume-Uni 4. France
5. Allemagne 6. Espagne 7. Italie 8. Australie
9. Nouvelle-Zélande 10. Chine 11. Taïwan 12. Hong-Kong
13. Corée du Sud 14. Singapour 15. Thaïlande 16. Malaisie
17. Indonésie 18. Vietnam 19. Philippines 20. Inde
21. Turquie 22. Autre ()

Q7. Seriez-vous favorable au projet d'amélioration du développement urbain respectueux du paysage si les touristes devaient payer une redevance pour ce projet ?

- En répondant, veuillez tenir compte du fait que le montant que vous pouvez dépenser diminuera après le paiement de la redevance.
1. 5 000 yens 2. 3 000 yens 3. 2 000 yens 4. 1 000 yens
5. 500 yens 6. 300 yens 7. 200 yens 8. 100 yens
9. Ne pas payer

Q8. Veuillez entourer la réponse qui correspond le mieux à la raison de votre choix pour la Q7.

1. Je souhaite que le centre-ville moderne soit préservé afin que je puisse y vivre confortablement.
2. Je souhaite que cette rue commerçante continue d'être préservée, un lieu où le paysage urbain historique et l'atmosphère animée s'harmonisent.
3. Nous souhaitons préserver la dignité et le calme du paysage qui harmonisent l'histoire et la culture.
4. Je suis favorable à l'entretien du paysage, mais je ne pense pas que cela vaille la peine de payer la cotisation.
5. Je ne ressens pas le besoin d'entretenir le paysage par des projets d'aménagement paysager urbain.
6. Je suis opposé au système de collecte des cotisations.
7. Il est impossible de prendre une décision sur la seule base de ces informations.
8. Autre ()

※Le contenu de vos réponses sera utilisé à des fins d'agrégation et d'analyse des données. De plus, vos informations personnelles ne seront pas identifiées en répondant.

Ceci clôt le questionnaire. Nous vous remercions de votre participation.

☒ 観光客アンケート（フランス語）

Nachträgliche Evaluationsumfrage zum Projekt zur Erneuerung der Stadtgestaltung rund um den Bahnhof Kil-Tanabe

- Diese Umfrage soll untersuchen, welchen Wert das „Projekt zur Erneuerung der Stadtgestaltung“ hat. Um die Effizienz jenes Programms ökonomisch beurteilen zu können, wurde in den folgenden Fragen ein provisorischer Beitrag festgesetzt. Es wird jedoch keinerlei tatsächliche Zahlung erhoben.
- Durch die Tatsache, dass sich das Landschaftsbild der Stadt Tanabe verbessert sowie diverse Einrichtungen entstehen, in denen die Touristen Informationen erhalten oder Steuerfreiheit angeboten bekommen, erhöht sich die Zweckmäßigkeit für die Besucher jener Region.

F1. Bitte geben Sie Ihr Geschlecht an.

1. Männlich 2. Weiblich 3. Weder noch

F2. Bitte geben Sie Ihr Alter an.

1. 10-19 Jahre 2. 20-29 Jahre 3. 30-39 Jahre
4. 40-49 Jahre 5. 50-59 Jahre 6. 60 Jahre oder älter

F3. Wussten Sie, dass Tanabe City als "Landscape Town Development Renewal Model District" ausgewiesen wurde?

1. Gut informiert 2. Etwas informiert
3. Kaum informiert 4. Gar nicht informiert

F4. Wie oft möchten Sie die Stadt Tanabe in den nächsten fünf Jahren zu touristischen oder Freizeitzwecken besuchen? Bitte geben Sie die jeweilige Anzahl der Besuche vor und nach der Durchführung des Projekts in die Klammern ein: ()

Vor der Durchführung des Projekts	Nachdem das Projekt durchgeführt wurde
() Mal	() Mal

F5. Bitte geben Sie die Angabe des Hauptverkehrsmittels, mit dem Sie Tanabe City besucht haben, sowie den Zeitaufwand und die Transportkosten für die einfache Fahrt an (ungefähre Zahlen sind akzeptabel). Bitte setzen Sie einen Kreis auf den entsprechenden Kreis und schreiben Sie die Zahl in ().

Hauptsächlich verwendete Verkehrsmittel	(1) Flugzeug (2) Eisenbahn (3) Busse (4) Personenkraftwagen und Mietwagen (5) Taxi (6) Andere ()
Zeitaufwand für eine einfache Fahrt	Ca. () Zeit () Minuten
Kosten für den einfachen Transport	Ca. () Yen
Anzahl der Fahrgäste (für Pkw und Mietwagen)	() Personen

↳ Weiter zur Rückseite

F6. Markieren Sie Ihr Herkunftsland mit einem ○.

- | | | | |
|----------------|---------------------|-------------------|---------------|
| 1. USA | 2. Kanada | 3. Großbritannien | 4. Frankreich |
| 5. Deutschland | 6. Spanien | 7. Italien | 8. Australien |
| 9. Neuseeland | 10. China | 11. Taiwan | 12. Hongkong |
| 13. Südkorea | 14. Singapur | 15. Thailand | 16. Malaysia |
| 17. Indonesien | 18. Vietnam | 19. Philippinen | 20. Indien |
| 21. Türkei | 22. Andere () | | |

F7. Würden Sie das Projekt zur Verbesserung der landschaftsbewussten Gemeindeentwicklung befürworten, wenn Touristen dafür eine Gebühr entrichten müssten?

Bitte berücksichtigen Sie bei Ihrer Antwort, dass Ihnen nach Zahlung der Gebühr weniger Geld zur Verfügung steht.

- | | | | |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 5.000 Yen | 2. 3.000 Yen | 3. 2.000 Yen | 4. 1.000 Yen |
| 5. 500 Yen | 6. 300 Yen | 7. 200 Yen | 8. 100 Yen |
| 9. Nicht bezahlen | | | |

F8. Bitte kreisen Sie die Zahl ein, die Ihrem Grund für die Antwort auf Frage 7 am ehesten entspricht.

1. Ich möchte, dass das moderne Stadtzentrum erhalten bleibt, damit ich komfortabel leben kann.
2. Ich möchte, dass diese Einkaufsstraße weiterhin als Ort erhalten bleibt, an dem das historische Stadtbild und die lebhaft Atmosphäre harmonieren.
3. Wir möchten die Würde und die ruhige Landschaft erhalten, die Geschichte und Kultur in Einklang bringt.
4. Ich bin mit der Erhaltung des Stadtbildes einverstanden, aber ich halte es nicht für gerechtfertigt, dafür eine Gebühr zu zahlen.
5. Ich halte es nicht für notwendig, das Stadtbild durch städtebauliche Maßnahmen zu erhalten.
6. Ich bin gegen das System der Beitragserhebung.
7. Es ist nicht möglich, allein auf der Grundlage dieser Informationen eine Entscheidung zu treffen.
8. Andere ()

Übersetzt mit DeepL.com (kostenlose Version)

※Der Inhalt Ihrer Antworten wird für die Datenaggregation und -analyse verwendet. Darüber hinaus werden Ihre personenbezogenen Daten durch die Beantwortung nicht identifiziert.

Vielen Dank für Ihre Mitarbeit an der Umfrage.

図 観光客アンケート（ドイツ語）

**En las cercanías de la estación de Kil-Tanabe
Cuestionario posterior a la evaluación del proyecto de renovación del desarrollo de la ciudad paisajística**

- Este cuestionario es para investigar cuánto valor tiene el "proyecto de renovación del desarrollo de la ciudad paisajística". Para evaluar económicamente los efectos del proyecto establecimos cuotas tentativas en las preguntas que siguen, pero en realidad no se cobrará nada.
- El paisaje de la ciudad de Tanabe será hermoso, y se desarrollarán instalaciones donde podrá recibir información turística y servicios libres de impuestos, lo que lo hará más conveniente para todos los que visitan esta área.

P1. Por favor, responda su género.

1. hombre 2. mujer 3. Ninguno de los anteriores

P2. Por favor, responda su edad.

1. 10-19 años 2. 20-29 años 3. 30-39 años
4. 40-49 años 5. 50-59 años 6. 60 años o más

P3. ¿Sabía que la ciudad de Tanabe ha sido designada como un "Distrito Modelo de Renovación de Desarrollo de Ciudades Paisajísticas"?

1. Bien informado 2. Algo informado
3. Poco informado 4. Nada informado

P4. ¿Cuántas veces desea visitar la ciudad de Tanabe con fines turísticos y de ocio en los próximos cinco años? Escriba un número en () para antes y después de que se lleve a cabo el proyecto.

Antes de implementar negocios	Después de que se lleve a cabo el proyecto
() veces	() veces

P5. Por favor, responda el principal medio de transporte que utilizó para visitar la ciudad de Tanabe, así como el tiempo requerido y los costos de transporte para el viaje de ida (se aceptan números aproximados). Por favor, ponga un círculo en el correspondiente y escriba el número en ().

Principales medios de transporte utilizados	(1) Avión (2) Tren (3) Autobuses (4) Turismos y coches de alquiler (5) Taxi (6) Otros ()
Tiempo requerido para un solo trayecto	Aprox. () Tiempo () minutos
Costos de transporte de ida	Aprox. () yenes
Número de pasajeros (para turismos y coches de alquiler)	() Personas

↳ Continúa hacia la parte trasera

P6. Marque con un ○ su país de origen.

- | | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|---------------|
| 1. EE.UU | 2. Canadá | 3. Reino Unido | 4. Francia |
| 5. Alemania | 6. España | 7. Italia | 8. Australia |
| 9. Nueva Zelanda | 10. China | 11. Taiwán | 12. Hong Kong |
| 13. Corea del Sur | 14. Singapur | 15. Tailandia | 16. Malasia |
| 17. Indonesia | 18. Vietnam | 19. Filipinas | 20. India |
| 21. Turquía | 22. Otro () | | |

P7. ¿Estaría a favor del proyecto de mejora para el desarrollo de una comunidad consciente del paisaje si los turistas tuvieran que pagar una tasa por este proyecto?

Al responder, tenga en cuenta que la cantidad de dinero que puede gastar disminuirá después de pagar la tasa.

- | | | | |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5000 yenes | 2. 3000 yenes | 3. 2000 yenes | 4. 1000 yenes |
| 5. 500 yenes | 6. 300 yenes | 7. 200 yenes | 8. 100 yenes |
| 9. No pagaría nada | | | |

P8. Marque con un círculo el número que más se acerque a su motivo para elegir la respuesta de la pregunta 7.

1. Quiero que se mantenga el centro moderno de la ciudad para poder vivir cómodamente.
2. Quiero que esta calle comercial siga manteniéndose como un lugar en el que el paisaje urbano histórico y el ambiente animado estén en armonía.
3. Queremos mantener la dignidad y la tranquilidad del paisaje que armoniza la historia y la cultura.
4. Estoy de acuerdo con mantener el paisaje, pero no creo que valga la pena pagar la cuota.
5. No veo la necesidad de mantener el paisaje mediante proyectos de desarrollo urbano paisajístico.
6. Me opongo al sistema de recaudación de contribuciones.
7. No es posible tomar una decisión basándose únicamente en esta información.
8. Otro ()

※El contenido de sus respuestas se utilizará para la agregación y el análisis de datos. Además, su información personal no se identificará al responder.

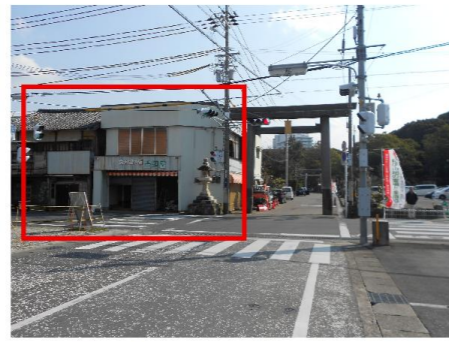
Gracias por su cooperación en la encuesta.

図 観光客アンケート（スペイン語）

景観まちづくり刷新事業の概要

～世界遺産 闘雞神社を核とした景観整備と駅前空間の刷新～

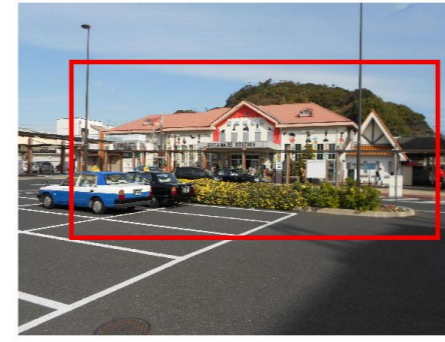
田辺市では、闘雞神社やJR 紀伊田辺駅前地区を含む市街地の地域を「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定し、中心市街地の景観資源を活かしたまちづくりを推進し、個性的で魅力のあるまちづくりを進めてきました。



①整備前のポケットパーク



①整備後のポケットパーク



⑤整備前の JR 紀伊田辺駅



⑤整備後の JR 紀伊田辺駅

◆事業実施箇所及びモデル地区等◆

⑤JR 紀伊田辺駅舎改修外観修景整備事業

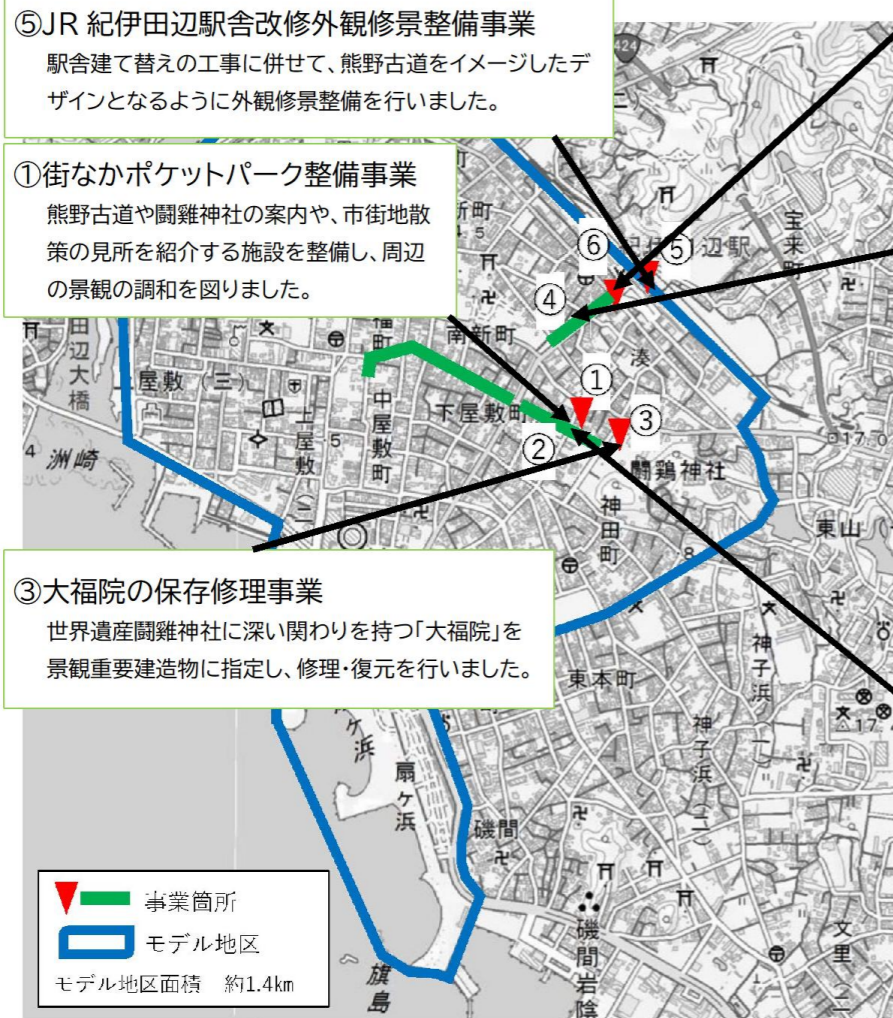
駅舎建て替えの工事に併せて、熊野古道をイメージしたデザインとなるように外観修景整備を行いました。

①街なかポケットパーク整備事業

熊野古道や闘雞神社の案内や、市街地散策の見所を紹介する施設を整備し、周辺の景観の調和を図りました。

③大福院の保存修理事業

世界遺産闘雞神社に深い関わりを持つ「大福院」を景観重要建造物に指定し、修理・復元を行いました。



⑥市街地活性化施設整備事業

来訪者の休憩スペースや交流拠点の場としてのコワーキングスペースを設け、交流拠点の場としての機能を図りました。

④田辺駅前商店街外観修景整備事業

世界遺産のまち「田辺市」の玄関口にふさわしい魅力ある通りとなるよう、田辺市駅前商店街地域の景観や夜間のライトアップでの修景を図りました。



整備後の昼の駅前商店街

②闘雞神社参道及び宮路通り他の舗装美装化事業

世界遺産の神社としてふさわしい参道となるように舗装の美装化を実施し、併せて宮路通りから南方熊楠顕彰館を結ぶ市道を周遊ルートとして美装化を図りました。



整備後の道路美装化

<事業前>



<事業後>



整備後の交流拠点



整備後の夜の駅前商店街

図 景観まちづくり刷新支援事業説明資料（日本語）

Overview of the Landscape Urban Development Renewal Project

- Landscape development centered on the World Heritage site of Tokei Shrine and renewal of the station area -

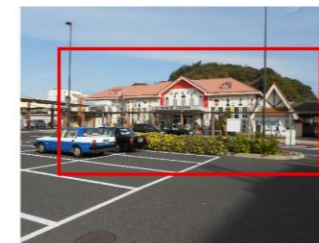
Tanabe City has designated the urban area, including Tokei Shrine and the area in front of JR Kii Tanabe Station, as a "Model Area for Landscape Urban Development Renewal," and has promoted urban development that makes use of the landscape resources of the central city area, creating a unique and attractive town.



①Pocket park before construction



①After maintenance

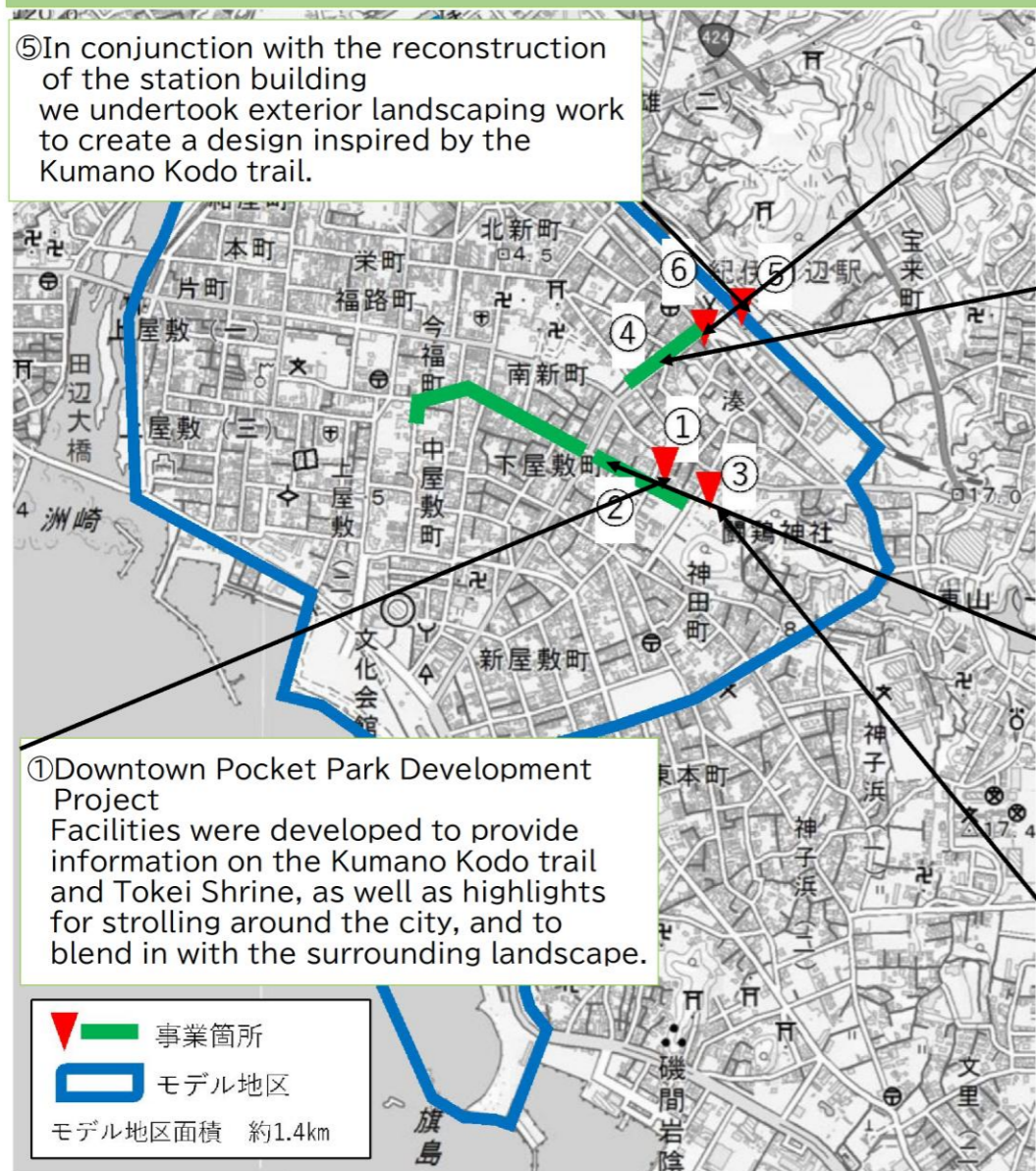


⑤JR Kii-Tanabe Station before renovation



⑤After maintenance

◆Project implementation locations and model districts, etc.◆



⑤In conjunction with the reconstruction of the station building we undertook exterior landscaping work to create a design inspired by the Kumano Kodo trail.

⑥Urban Revitalization Facility Development Project

We have set up a co-working space as a rest area for visitors and a place for interaction, and we aim to make it a place for interaction.

<before>



<After>



④Tanabe Station Shopping Street Exterior Landscape Improvement Project

To create an attractive street worthy of being the gateway to the World Heritage city of Tanabe, we have worked to improve the scenery of the shopping district in front of Tanabe Station and illuminate it at night.

<before>



<After>



Daytime shopping street



Shopping street at night

②Pavement beautification project for the approach to Tokei Shrine, Miyaji Street, and other areas

The road to the shrine has been paved to create a suitable approach to the shrine as a World Heritage Site, and the city road connecting Miyaji-dori Street and the Minakata Kumagusu Memorial Museum has also been beautified to serve as a sightseeing route.

<before>



<After>



③Daifuku-in Temple Preservation and Repair Project

Daifuku-in Temple, which has a deep connection to the World Heritage Site Tokei Shrine, was designated as a landmark and underwent repairs and restoration.

<before>



<After>



図 景観まちづくり刷新支援事業説明資料 (英語)

⑧年間便益額の結果

観光客等アンケート調査報告書は別添資料2に整理している。

本事業に対して、負担金を支払うことに賛成した割合は、全体で78.0%、反対した割合は、22.0%となった。

賛成と回答した人の中でも、2,000円/回と1,000円/回がそれぞれ26件23.9%、500円/回が12件11.0%、5,000円/回が9件8.3%となった。

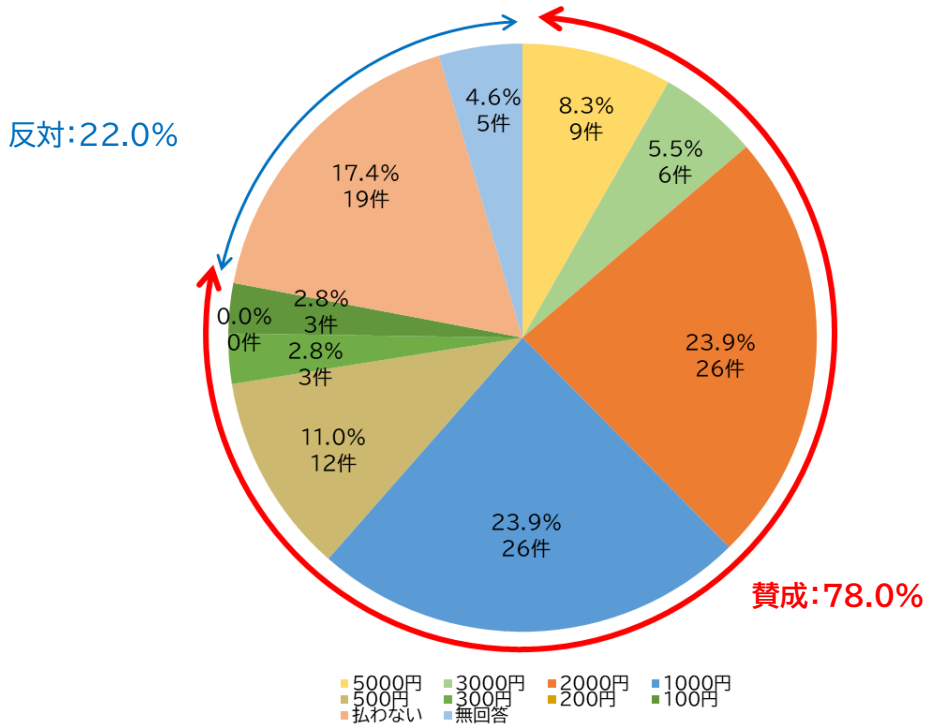


図 観光客等の支払い意志額

支払いカード方式の回答データは、マルチバウンド方式の回答に変換することから、下表のとおり集計を行った。なお、賛成数はマニュアルに基づき、頻度の累積数として変換している。また、支払意志額の集計に当たっては、抵抗回答を除外することから、提示金額0円（支払うことに対する抵抗）は、次ページの平均値の算定から除外している。

表 マルチバウンド方式への変換

支払いカード方式の集計
(金額別回答数)

提示金額	頻度 (回答数)
0円	289
100円	248
200円	235
300円	223
500円	208
1000円	163
2000円	92
3000円	61
5000円	27

有効回答数 1546
無回答 0

マルチバウンド方式の集計

提示金額	賛成数	賛成率	反対数	反対率
0円	1546	100.0%	0	0.0%
100円	1257	81.3%	289	18.7%
200円	1009	65.3%	537	34.7%
300円	774	50.1%	772	49.9%
500円	551	35.6%	995	64.4%
1000円	343	22.2%	1203	77.8%
2000円	180	11.6%	1366	88.4%
3000円	88	5.7%	1458	94.3%
5000円	27	1.7%	1519	98.3%

※賛成数は頻度の累積数として計上

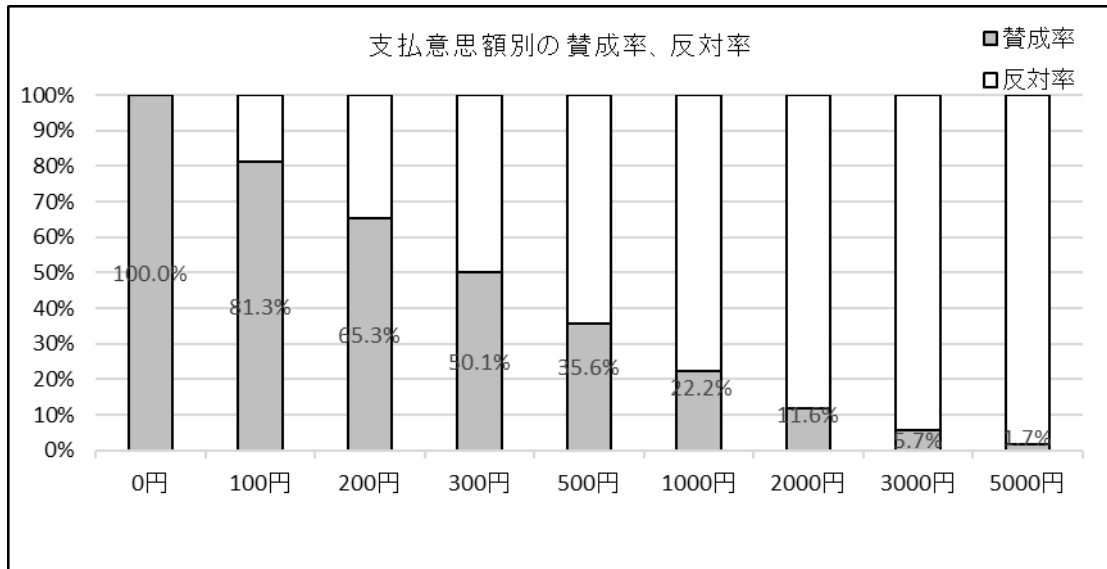


図 支払い意思額別の賛成率、反対率

横軸に提示金額、縦軸に賛成率をプロットし、「シングルバウンド ワイブル生存分析」(「Excel でできる CVM Ver4.0」(栗山浩一氏)) を使用して、ワイブル関数(最尤推定法)により平均値を算定した。

なお、平均値は、最大提示額で裾切りした値 783 円を採用した。

推定結果

変数	係数	t値	p値
Location	6.4063	317.227	0.000 ***
Scale	1.4360	59.574	0.000 ***
n	18552		
対数尤度	-5712.935		

推定WTP

(中央値)	358
(平均値)	770 裾切りなし
	783 最大提示額で裾切り

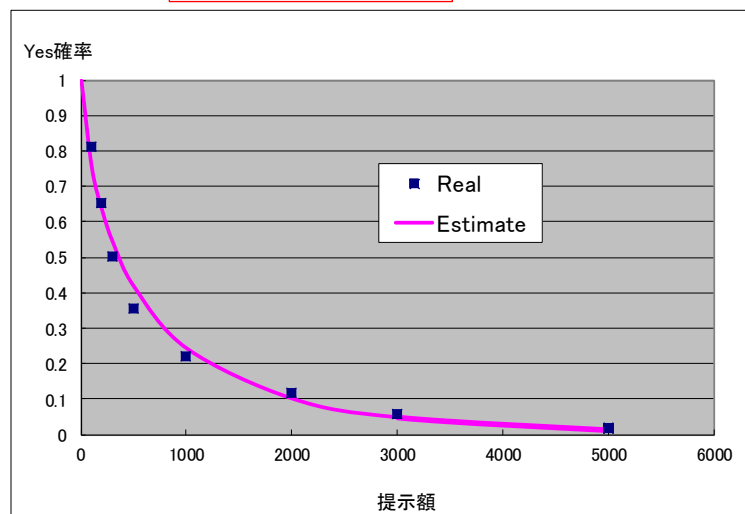


図 支払い意思額の平均値の算出結果

観光客等の意識に与える効果（CVM）便益計測について、平成30年と令和7年の計測結果は、以下の示す通りである。

表 CVM年間便益計測結果（平成30年）

項目	平成30年
評価手法	CVM
①支払い意志額（円/回・人）	284円/回・人
②田辺市の観光入込客数（人/年）	3,637,523人/年
③和歌山県内での利用交通機関（JR在来線）（利用率）	8.6%
年間便益（億円/年）①×②×③	0.89億円

表 CVM年間便益計測結果（令和7年）

項目	令和7年
評価手法	CVM
①支払い意志額（円/回・人）	783円/回・人
②令和2～6年の旧田辺市の観光入込客数（人/年）	693,062人/年
③モデル地区内を訪れる割合	57.4%
年間便益（億円/年）①×②×③	3.11億円

表 旧田辺市とモデル地区の観光客数（令和2～6年）

内容	旧田辺市の観光客動態数 （県調べ）	モデル地区関連施設等の 来場者数
令和2年度	508,778	268,715
令和3年度	449,178	244,872
令和4年度	736,105	422,801
令和5年度	896,786	492,432
令和6年度	874,462	558,710
令和2～6年平均値	693,062	397,506
割合	—	57.4%

平成30年の計算については平成26年度の和歌山県観光統計調査実施業務報告書の値を用いられて計算されており、その後報告書の最新版が公開されておらず、より実態に即したモデル地区内の観光客のCVM便益を計算するために、計算方法を上記のように変更した。

支払い意志額は、近年の円安や観光税に関する意識の高まり等から金額の上昇につながったことが想定される。

(2-3) 費用便益分析の結果について

平成30年度～令和2年度までの景観まちづくり刷新支援事業(①～⑥)の事業費と維持管理費用を下表のとおり整理した。

なお、維持管理費は平成30年度の報告書に記載のあった金額に建築デフレーターを基にした上昇率(2019年→2025年の上昇率1.2)を計上した。

表 マルチバウンド方式への変換

項目	内容	費用	維持管理費
対象事業	①街なかポケットパーク整備事業	98,800,120	7,200,000
	②鬮雞神社参道及び宮路通り 他の舗装美装化事業	109,775,420	
	③「大福院」の保存修理事業	67,152,800	
	④田辺駅前商店街外観修景 整備事業	493,101,094	
	⑤JR紀伊田辺駅舎改修外観修景 整備事業	54,427,118	
	⑥市街地活性化施設整備事業	300,365,557	19,200,000
	合計(①+②+③+④+⑤+⑥)	1,123,622,109	26,400,000

費用(C)については、前述した事業費について、景観まちづくり刷新支援事業の費用対効果分析マニュアル(案)(平成15年2月/国土交通省住宅局)P.8に基づき、事業の評価期間を50年、評価期間内に発生する費用及び便益を社会的割引率4.0%で現在価値化した。また、事業期間は、市が予定している50年間とした。

便益(B)については、地域住民の意識に与える効果(CVM)+観光客の行動の変化に与える効果(CVM)により便益(年額)を算出した。

費用便益効果分析については、費用便益比(B/C)を算定し、マニュアル(案)P.23の参考様式に基づき、次ページ表のように整理した。

表 単年度便益の比較

項目	平成30年 年間便益額	令和7年 年間便益額
地域住民の意識に与える効果(CVM)	0.35億円/年	1.86億円/年
観光客の行動の変化に与える効果(CVM)	0.88億円/年	3.11億円/年
合計	1.23億円/年	4.98億円/年

費用対効果分析において、事業完了後の総便益（B）は約 104 億円、総費用（C）は約 17.8 億円となり、費用便益比は 5.8 となった。この結果、事業の投資効果が確認された。

表 50 年間の費用便益分析

費用便益比	5.8
純現在価値	86.2 億円
経済的内部収益率	43%
社会的割引率	4%

便益B(百万円)		費用C(百万円)		純便益(B-C)(百万円)	
単純合計	現在価値化	単純合計	現在価値化	単純合計	現在価値化
24900	10397.9	2467.4	1782.14	22432.6	8615.76

年次	供用後	便益B(百万円)		費用C(百万円)		純便益(B-C)(百万円)	
		単純便益	現在価値化	単純便益	現在価値化	単純便益	現在価値化
2018				120.8	125.632	-120.8	-125.63
2019				76.4	79.456	-76.4	-79.456
2020	1	498	478.1	996.2	1036.05	-498.2	-557.95
2021	2	498	459	26	25	472	434
2022	3	498	440.6	26	24	472	416.6
2023	4	498	423	26	23	472	400
2024	5	498	406.1	26	22.1	472	384
2025	6	498	389.9	26	21.2	472	368.7
2026	7	498	374.3	26	20.4	472	353.9
2027	8	498	359.3	26	19.6	472	339.7
2028	9	498	344.9	26	18.8	472	326.1
2029	10	498	331.1	26	18	472	313.1
2030	11	498	317.9	26	17.3	472	300.6
2031	12	498	305.2	26	16.6	472	288.6
2032	13	498	293	26	15.9	472	277.1
2033	14	498	281.3	26	15.3	472	266
2034	15	498	270	26	14.7	472	255.3
2035	16	498	259.2	26	14.1	472	245.1
2036	17	498	248.8	26	13.5	472	235.3
2037	18	498	238.8	26	13	472	225.8
2038	19	498	229.2	26	12.5	472	216.7
2039	20	498	220	26	12	472	208
2040	21	498	211.2	26	11.5	472	199.7
2041	22	498	202.8	26	11	472	191.8
2042	23	498	194.7	26	10.6	472	184.1
2043	24	498	186.9	26	10.2	472	176.7
2044	25	498	179.4	26	9.8	472	169.6
2045	26	498	172.2	26	9.4	472	162.8
2046	27	498	165.3	26	9	472	156.3
2047	28	498	158.7	26	8.6	472	150.1
2048	29	498	152.4	26	8.3	472	144.1
2049	30	498	146.3	26	8	472	138.3
2050	31	498	140.4	26	7.7	472	132.7
2051	32	498	134.8	26	7.4	472	127.4
2052	33	498	129.4	26	7.1	472	122.3
2053	34	498	124.2	26	6.8	472	117.4
2054	35	498	119.2	26	6.5	472	112.7
2055	36	498	114.4	26	6.2	472	108.2
2056	37	498	109.8	26	6	472	103.8
2057	38	498	105.4	26	5.8	472	99.6
2058	39	498	101.2	26	5.6	472	95.6
2059	40	498	97.2	26	5.4	472	91.8
2060	41	498	93.3	26	5.2	472	88.1
2061	42	498	89.6	26	5	472	84.6
2062	43	498	86	26	4.8	472	81.2
2063	44	498	82.6	26	4.6	472	78
2064	45	498	79.3	26	4.4	472	74.9
2065	46	498	76.1	26	4.2	472	71.9
2066	47	498	73.1	26	4	472	69.1
2067	48	498	70.2	26	3.8	472	66.4
2068	49	498	67.4	26	3.6	472	63.8
2069	50	498	64.7	26	3.5	472	61.2

(3) 事業の発現効果状況の確認

5年間の集中的な景観整備により従前、従後で利活用の促進や空間の質的向上を伴う、際だった景観の刷新性が生じたか確認した。また本事業により、「街の賑わいの創出」に関する達成状況やその他の効果の発現状況についても確認した。確認の際には、本事業で整備した個別の施設の利活用状況についてもあわせて確認した。

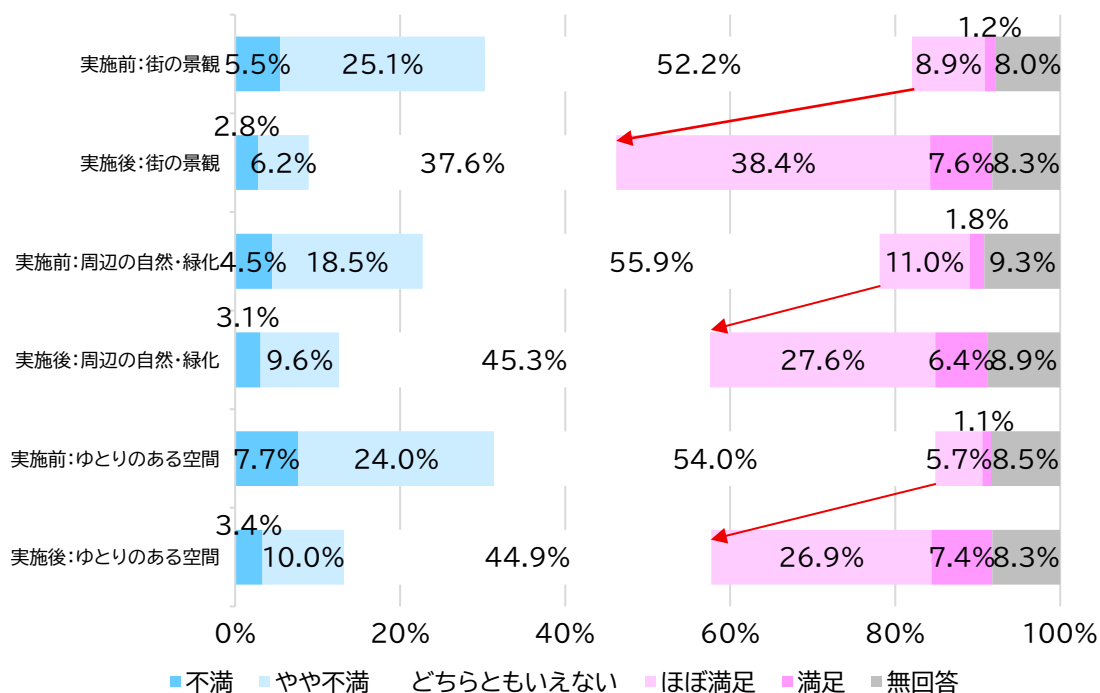
(3-1) 景観の刷新性

事業評価項目である「景観の刷新性」については、事業の従前、従後において、景観の変化が生じていたか確認した。

景観の変化とは、外観の変化だけでなく、人々が歩きたくなる、住んでみたくなる等の利活用が促進され、居住環境の豊かさを享受できるような空間の質的向上を伴うものも含まれる。

【評価結果のまとめ】

- ・まちなかの景観や歴史的な景観の修景等により、景観の質とまちの魅力が向上した。
- ・モデル地区内の周辺環境（まちの景観、周辺の自然・緑化、ゆとりのある空間）の満足割合が増加した。



本事業では、街なかポケットパーク整備事業や神社参道等の舗装美装化事業、田辺駅前商店街外観修景整備事業等の景観の向上に向けた6つの事業が実施された。

①街なかポケットパーク整備事業	
	
事業前	事業後
評価の内容に対する説明等	
<p>【整備概要】 ●熊野古道や闘雞神社等の案内 ●休憩施設(トイレ、待合室等) ●イベント拠点(ウォークイベント、ギャラリー等) 世界遺産である熊野古道や闘雞神社等の案内をはじめ、市街地散策の見所を紹介し来訪者を街なかに滞留させる施設として整備しました。闘雞神社の修景と調和を図り、周辺の景観性の向上を図りました。</p> <p>【成果・周辺への波及効果】 観光案内所及び街歩きの拠点施設として活用され、様々な情報提供や休憩施設として多くの来訪者に利用されています。また、当該施設を拠点とした様々な事業(ウォークイベント、ミニギャラリー、街歩きキャンペーン等)も展開されてきており、賑わいを見せています。</p> <p>市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、25.4%→7.1%と改善し、満足の割合は10.1%→51.9%と過半数以上の方が満足していました。</p>	
②闘雞神社参道及び宮路通り他の舗装美装化事業	
	
事業前	事業後
評価の内容に対する説明等	
<p>【整備概要】 ●舗装の美装化(周遊ルート、まち歩きのモデルコース) 世界遺産の神社としてふさわしい参道となるよう舗装の美装化を実施し、併せて門前町となる宮路通りから南方熊楠顕彰館を結ぶ市道についても周遊ルートとして美装化を図り、まち歩きのモデルコースとして街なかの観光スポットを案内しています。</p> <p>【成果・周辺への波及効果】 ①街なかポケットパーク整備事業と③「大福院」の保存修理事業と併せて、観光客や市民が訪れる闘雞神社一帯の道路及び空間の高質化を図り、多くの来訪者(令和6年度闘雞神社:20万人)が訪れる場所となっています。</p> <p>市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、20.5%→8.9%と改善し、満足の割合は16.9%→53.7%と過半数以上の方が満足していました。</p>	

③「大福院」の保存修理事業



事業前



事業後

評価の内容に対する説明等

【整備概要】

●大福院の修理・復元 ●景観重要建造物に指定

世界遺産闘雞神社の参道横に位置し、歴史的にも深い関わりを持つ「大福院」について、景観重要建造物に指定し、修理・復元を行いました。

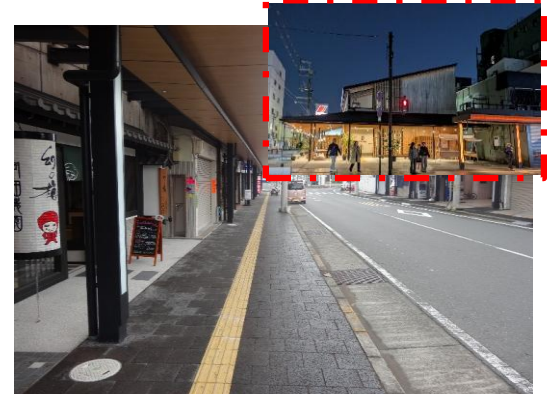
【成果・周辺への波及効果】

①街なかポケットパーク整備事業と②闘雞神社参道及び宮路通り他の舗装美化事業と併せて、観光客や市民が訪れる闘雞神社一帯の道路及び空間の高質化を図り、多くの来訪者（令和6年度闘雞神社等：20万人）が訪れる場所となっています。市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、15.3%→4.6%と改善し、満足の割合は9.5%→37.7%と改善しました。

④田辺駅前商店街外観修景整備事業



事業前



事業後

評価の内容に対する説明等

【整備概要】

●外観の修景（夜間ライトアップ等） ●イベント開催による集客力の向上

田辺市駅前商店街地域を、世界遺産のまち「田辺市」の玄関口にふさわしい魅力ある通りとなるよう、景観の修景を図りました。外観の修景を行うことで、世界遺産「闘雞神社」へ通ずる商店街にふさわしい、楽しく魅力的な商店街へとイメージを刷新するとともに、イベントの開催を定期的に開催し、集客機能が向上しました。

【成果・周辺への波及効果】

事業期間中から現在までも、田辺駅前商店街ではゲストハウスやペットフードショップ、パン屋等が新規に開業されており、地域活性化に寄与しました。また、観光客等がランチ・休憩等で飲食店等を利用する光景や夜間のライトアップにおいて写真撮影する光景等も見受けられました。

市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、33.7%→9.8%と改善し、満足の割合は13.5%→55.6%と過半数以上の方が満足していました。

⑤JR紀伊田辺駅舎改修外観修景整備事業



事業前



事業後

評価の内容に対する説明等

【整備概要】

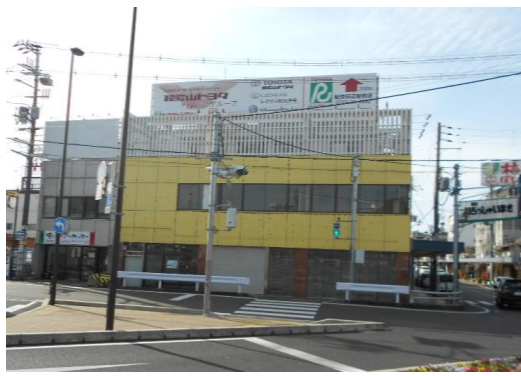
●外観修景整備

西日本旅客鉄道株式会社が実施する駅舎建て替え工事に併せて、「現駅舎の風情を残した外観」かつ「熊野古道をイメージしたデザイン」となるよう外観修景整備を行いました。

【成果・周辺への波及効果】

熊野古道を訪れる観光客の交通結節点として、多くの人に利用されています。1日あたりの利用者数自体は減っていますが、構内の待合室の田辺市の地域案内を見る人や隣接する商業施設を利用して飲食する人等、多くの利用者でにぎわいがあふれていました。市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、27.8%→6.9%と改善し、満足の割合は18.1%→63.6%と過半数以上の方が満足していました。

⑥市街地活性化施設整備事業



事業前



事業後

評価の内容に対する説明等

【整備概要】

●外観修景整備

多くの来訪者が利用する田辺市の玄関口であるJR紀伊田辺駅に、外国人観光客をはじめとする来訪者の休憩スペースや、今後創業を目指している方々の交流拠点の場としてコワーキングスペース等の機能を設けました。また、まちづくり会社である南紀みらい株の事務所を置くことで、中心市街地の空き家・空き店舗情報等の情報提供や経営指導員との連携を図り、地域の活性化に繋がりました。

【成果・周辺への波及効果】

熊野古道を訪れる観光客はもちろん、市民も利用する交流拠点として令和2年度から令和6年度まで毎年約5～9万人近い利用者が訪れ、にぎわいを見せています。市民アンケート調査より、事業実施前後の不満割合は、27.1%→8.7%と改善し、満足の割合は9.5%→49.1%と約半数の方が満足していました。

(3-2) 地域の活性化

事業評価項目である「地域の活性化」については、「観光入込客数の増加」、あるいは市民活動やイベントの活性化等の「まちの賑わいの創出」に関する達成状況について確認した。

【評価結果のまとめ】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一時的に観光客数が減少したが5類移行後、観光客数は回復傾向にある。
- ・モデル地区内や事業関連施設において、イベント開催の後押しもあり、関連施設・周辺施設の延べ来場者数は事業実施前後で増加し、まちの賑わいが創出した。
- ・平成29年以降の駅前商店街の空き店舗率等は、商店街全体の空き店舗率を下回り、地域活性化の効果が見受けられた。

表 田辺市観光入込客数とモデル地区関連施設等の来場者数

項目	平成28年 (事業開始前)	令和6年 (事業実施後)
田辺市観光入込客数	3,650,588/人	3,208,026/人
モデル地区関連施設等の来場者数	387,224/人	558,710/人
空き店舗率の推移	23.7%	17.3%

図 田辺市内観光入込客数の推移

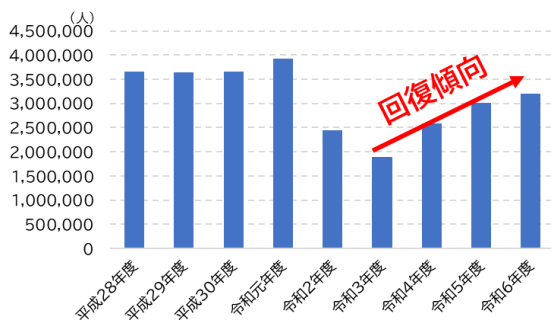


図 モデル地区関連施設等の来場者数の推移

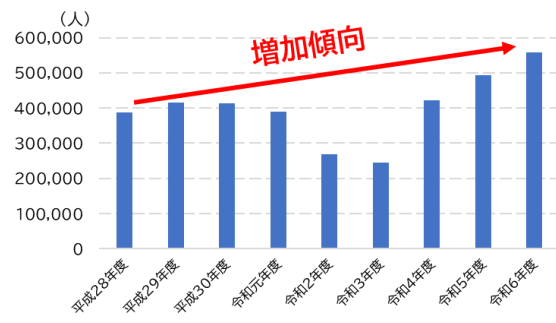


図 商店街の空き店舗率の推移

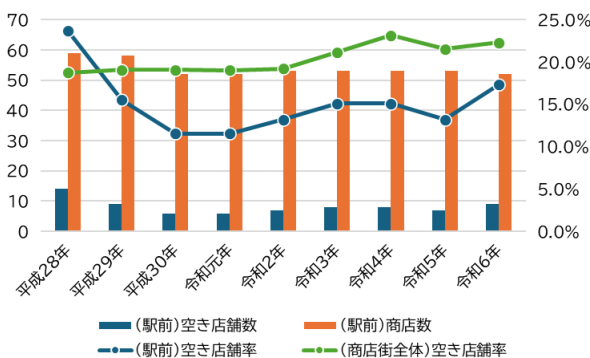


写真 イベント開催時の様子



(4) 事業実施による環境の変化の確認

事業の実施による自然環境への影響の有無を確認した。また、商店街の衰退、渋滞、地価等の周辺環境への影響の有無及び地域住民の意識の変化を確認した。

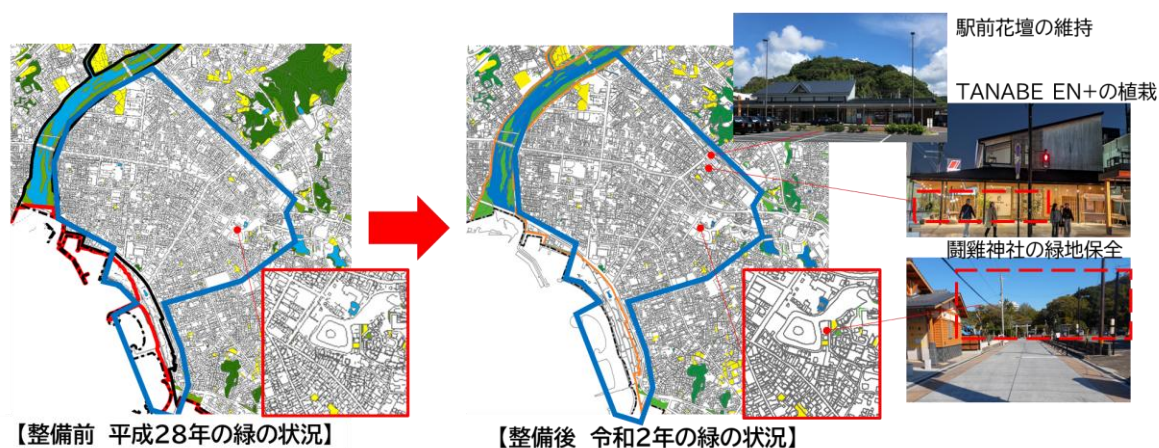
(4-1) 自然環境に対する影響

事業評価項目である「自然環境に対する影響」については、事業の実施による自然環境への影響の有無について確認した。

【評価結果のまとめ】

- ・ 駅周辺の植栽や花壇を整備することで、玄関口として良好な市街地景観の維持が図られていた。
- ・ 事業の従前、従後の大きな変化は見受けられなかった。

図 緑の状況の変化



(4-2) 生活・居住環境等への影響

事業評価項目である「生活・居住環境等への影響」については、地価の推移、事業の実施による周辺環境（道路の通行のしやすさ、まちのバリアフリー化）を確認した。

【評価結果のまとめ】

- ・ JR 紀伊田辺駅前の湊地区の地価は、平成 28 年以降微減傾向事業実施前の地価減少率の差が小さくなっていることから、土地需要の維持に寄与していることがうかがえる。
- ・ 商店街や駅舎のバリアフリー化により、市民の満足度が向上した。

図 湊地区の地価の推移

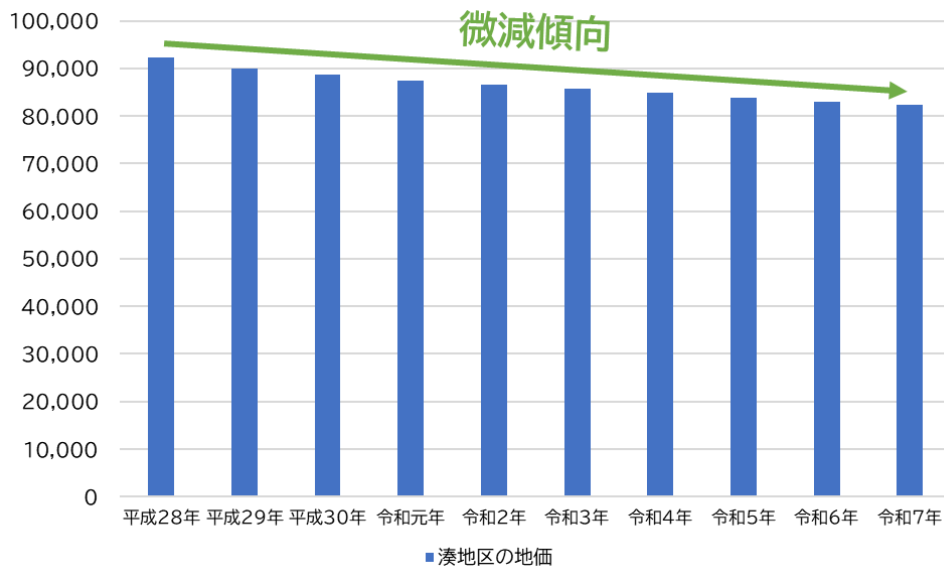
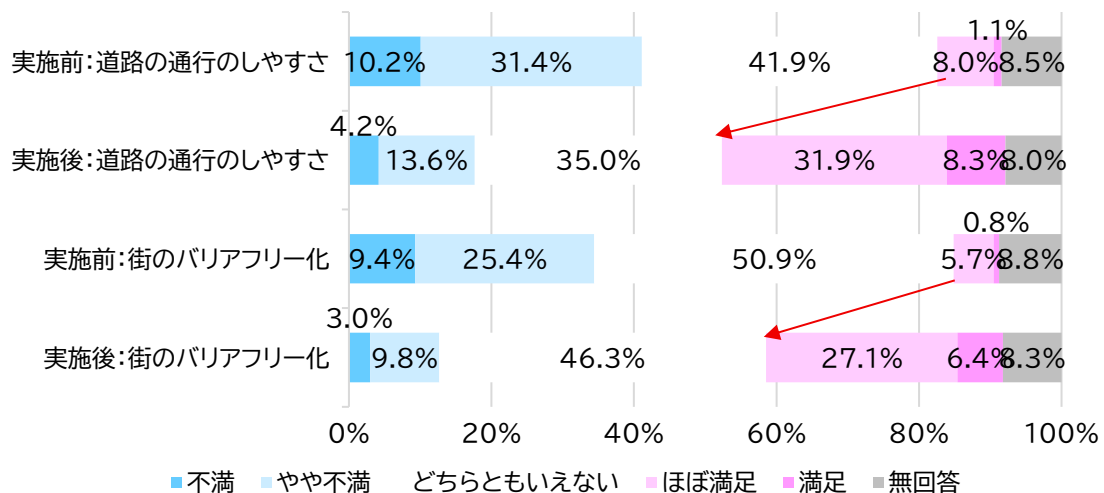


図 周辺環境の満足度の推移



(5) 社会経済情勢の変化の確認

社会経済状況の変化や、関連計画、関連事業の状況の変化（関連事業の中止、計画変更、事業の遅延等）、当該事業の必要性、住民のニーズ等に関する変化が事業に及ぼした影響について確認した。また変化に対して措置を講じた場合は、その内容を示した。

(5-1) 社会経済状況の変化

事業評価項目である「社会経済状況の変化」については、社会情勢や経済状況の変化等が事業に及ぼした影響について確認した。

【評価結果のまとめ】

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本市への観光も令和2年度以降の観光動態に大きな影響が及ぼされた。しかし、令和4年度以降は、観光入込客数や施設利用者数等は、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻るとともに、関連施設・周辺施設利用者数等は、感染拡大前の水準を超えている。

図 田辺市内観光入込客数の推移

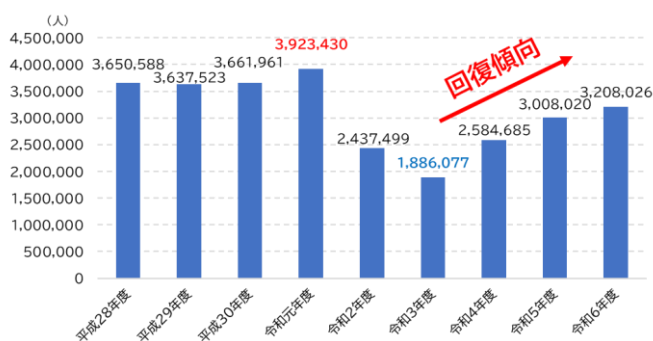


図 モデル地区関連施設等の来場者数の推移



(5-2) 関連計画、関連事業の状況の変化

事業評価項目である「関連計画、関連事業の状況の変化」については、事業の状況の変化（関連事業の中止、関連計画の変更、関連事業の遅延等）が事業に及ぼした影響について確認した。

【評価結果のまとめ】

- 関連計画、関連事業は概ね計画通りに遂行されており、本事業に影響を及ぼした状況は見受けられなかった。

(5-3) 事業環境等の変化

事業評価項目である「事業環境等の変化」については、本事業の必要性、住民のニーズ等に関する変化が事業に及ぼした影響について確認した。

【評価結果のまとめ】

- ・地域住民アンケートから、景観まちづくり刷新支援事業への支払い意志額とその理由において、街並みや商店街、景観の維持を支持する割合が46%とニーズがあることがうかがえる。
- ・観光客等アンケートから、再訪の意欲を示す割合が増加（50%→77%）した。

図 事業実施前の訪問回数

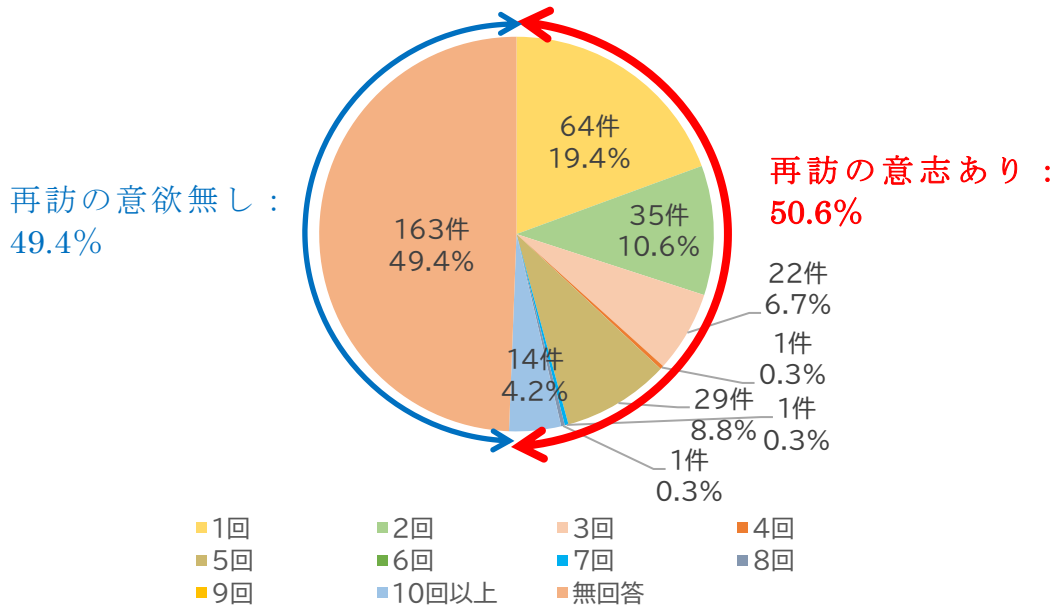
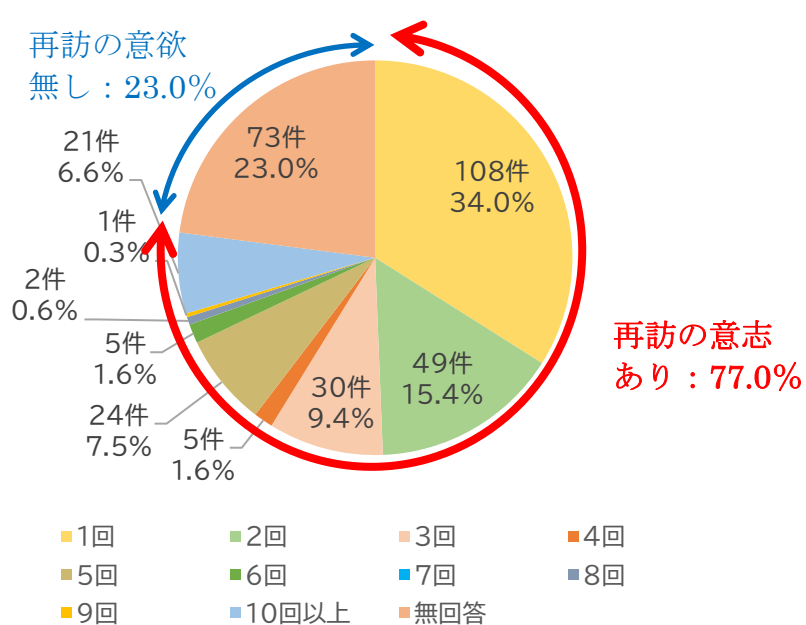


図 事業実施後の訪問回数



(6) 今後の事後評価の必要性の有無の整理

今後の事後評価の必要性について説明し、今後事後評価が必要となる場合は、その時期及び方法を示した。

【評価結果のまとめ】

- ・費用対効果が 5.8 と 1 を上回る結果から、事業の投資効果が十分であることが認められる。
- ・地域住民・観光客等アンケートから、事業に対する賛同や満足と回答した割合が上昇していることから、一定の事業効果が得られたと判断できる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、観光客が一時的に減少したが、令和3年度以降、観光需要が回復傾向にあることから、事後評価の必要性はないと考える。
- ・まちなかの活性化と景観まちづくりの推進に向けて、事後評価アンケート（市民・観光客等）の満足割合については、モニタリング等を実施し、事業のフォローアップや事業改善の必要性について検討していく。

今回実施した事後評価では、費用対効果分析による投資効果が確認され、地域住民・観光客等アンケート調査からも回答者の約5割程度が事業への賛同（近代的なまちなみの維持や歴史とにぎわいが調和した商店街の維持、歴史と文化が調和した落ち着いた景観の維持）を示しており、周辺環境への満足度の割合上昇も含めて良い影響が波及しており、一定の事業効果が得られたと判断できる。

また、一時的に減少していた観光客数もコロナ以前の水準に回復傾向にあることから、改めての事後評価の必要性はないと考える。引き続き、モデル地区内の関連施設等の来場者数等のモニタリングを行うとともに、事業のフォローアップの必要性を検討していく。

(7) 改善措置の必要性の有無の整理

改善措置の必要性について明確に説明し、改善措置が必要な場合、その内容を示した。
また、これまで既に実施した改善策がある場合は、その内容と効果について示した。

【評価結果のまとめ】

- ・地域住民及び観光客等から多くの賛同を得ており、本事業に対する景観の課題は特に生じていないことから、改善措置は不要と考えられる。
- ・しかし、地域住民アンケートの自由意見や観光客等アンケートの実施時におけるヒアリングにおいて、商店街や地域活性化に多くの意見が寄せられていることから、今後も地域の活性化に向けた取り組みを継続していくことが重要であると考ええる。

自由意見の抜粋
歴史的な背景、情報発信が必要だと思う。聖地巡り等のコンテンツが充実している。通りや施設等の命名権の売買等のおもしろさがあると良い。
議員さんに頑張ってほしい。
国道沿いにバス停がほしい。
交通利便性の維持が優先だと思う。
モデル地区以外の地域の活性化にも力を入れてほしい。
商店街の活気が全盛期と比較するとまだまだ店舗数・にぎわいが不足している。
道路整備（白線、無電柱化、道路拡幅）を進めてほしい。
南海トラフ等の災害に備えた対策が必要だと思う。
住民が利用できる店舗が少ない、買い物難民への支援がほしい。
ユニバーサルデザイン（バリアフリー含む）のまちづくりを進めてほしい。
寄付（クラウドファンディング）を募ってはどうか。
歴史的なまちなみの保全が必要だと思う。
人口減少・過疎化対策が必要だと思う。
看板等の多言語化が必要だと思う。
タクシーでの買い物が多く、交通の利便性が悪い。
自然環境や自然景観（眺望）を大切にしてほしい。
商店街の活性化を頑張ってほしい。
人口減少の中でのまちづくりについても考えてほしい。

(8) 同種事業等に参考となるべき事項の有無の整理

他地区の事業計画等に反映できる事項がある場合は、その内容を示した。また、評価手法について見直すべき点（評価項目・内容の追加や削除等）がある場合はその内容を示した。

【評価結果のまとめ】

- ・同種事業の計画・調査の在り方について他地区の事業計画に反映する事項、事業手法の見直しを必要とする事項は特にない。

(9) 関係機関協議支援

事後評価を行う上で、外部団体との協議用資料を作成した。

別添資料3 田辺市景観まちづくり刷新支援事業 評価委員会（田辺市景観審議会）

表 評価委員会の概要

項目	内容
委員会名	田辺市景観まちづくり刷新支援事業 評価委員会
開催日時	令和8年2月10日（火）
開催場所	田辺市役所
主な意見	<p>○費用便益比とは何か、わかりやすく説明してほしい。</p> <p>●景観まちづくり刷新支援事業についてCVM（仮想的市場評価法）によって、金額化を行ったうえで事業に関する総便益とし、景観まちづくり刷新支援事業の総費用と比較して投資効果があったかを確認しました。</p> <p>6つの事業に対して、一か月いくらまでなら支払えるか市民にアンケートを行い、その金額を50年間積み上げて総費用と比較したところ、5.8という結果となりました。</p> <p>○6つの事業又は1つの事業に対して、いくら支払えるのか質問したのか。また、金額の設問はどのように設定したのか。</p> <p>●支払金額は、100円、200円、300円、500円、1000円、2000円、3000円、5000円、支払わないの9つの選択肢の中で、6つの事業に対して支払い意志額を質問しました。</p> <p>○費用便益算出の基準は何に基づいているのか。</p> <p>●平成30年度に国が公表した「景観まちづくり刷新支援事業費用便益分析マニュアル」に基づき算出しました。</p> <p>○人口減少が想定されるが、50年後も約35000世帯で計算されるのか。</p> <p>●マニュアルの中で、人口・世帯数等の変動可能性について感度分析の実施の中で-10%での変動計算を行うものとしています。</p> <p>○市民アンケート4000世帯の抽出方法はどのようなものか。また、観光客アンケート調査の外国人と日本人の内訳は？</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区の現世帯比率を基に抽出しており、そのため旧田辺市が比較的多くなっています。観光客等アンケートの回答者ですが、外国の方が110人、日本の方が290人の合計400人となっています。 ○景観まちづくり刷新支援事業で整備された施設について、今後維持していくうえで、懸念事項はあるか？ <ul style="list-style-type: none"> ●整備後からあまり時間が経過していないため、目立った課題等は見受けられません。今後は、50年間有効的に活用するために、内装等の改修や維持管理が必要であると推察しています。 ○整備した施設に指定管理等で人員の配置はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ●市が管理する鬮雞神社前のポケットパークには、ボランティアガイドを配置している。 ○アンケート結果等において、過半数近い割合で満足と回答されている方が多いが、今後の事後評価のモニタリングを続けるためにも目標等の設定は行わないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ●事後評価カルテにおいて、今後のモニタリングの必要性を記載し、目標値の設定についても検討する。
--	---

表 景観カルテの作成

景観まちづくり刷新支援事業 事後評価カルテ

事業名 (箇所名)	田辺市景観まちづくり刷新モデル地区			担当課	都市計画課	事業 主体	田辺市			
				担当課長名	土井 稔之					
実施箇所	田辺市景観まちづくり刷新モデル地区									
該当基準	事業完了後、一定期間が経過した事業(5年以内)									
主な事業の諸元	駅前空間の景観刷新(駅舎外観修景、観光案内所整備、建造物の外観修景)、関連神社周辺の景観整備(舗装の美化化、公園整備)等									
事業期間	事業採択	平成29年度	事業完了	令和2年度						
総事業費(億円)	採択時	16.5	完了時	11.2						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>駅前空間については、JR紀伊田辺駅駅舎の老朽化が懸念されており、熊野古道へアクセスする交通結節点となっていることから、現駅舎の風情を残しつつ熊野古道と調和したデザインでの景観整備が求められる。また、観光客等が公共交通の乗り換えの待機時間において、街なかを回遊出来るルートや商店街の夜間景観の魅力向上が地域活性化や地域の滞留時間増加に向けた整備として求められる。</p> <p>関連神社については、平成29年に国の重要文化財の指定を受け、熊野三山の伝統形式を伝える建造物として文化財的価値が高いもので、これらの資源を活かし、景観の魅力向上を図ることが課題となっている。JR紀伊田辺駅を視点として、景観まちづくり刷新モデル地区の回遊性を高めるため、舗装の美化化や美しい景観の連続性が求められます。</p> <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前の交通結節点を始点とし、商店街をはじめとするまちなかの回遊を促進する景観整備を実施し、にぎわいの創出と観光資源の魅力向上を図る。 関連神社等の世界遺産や文化財等の観光地周辺の修景整備により、観光地のさらなる魅力向上とまちなかの回遊性の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標：地域の衰退に陥らないため、個性あふれる歴史的・文化的景観の魅力を活かし、市民に愛されるまちづくり 施策目標：自然的・文化的景観の保全と観光資源としての活用など田辺市独自の景観を活用した景観まちづくり 									
事業全体の投資効率性	B:総便益(億円)	103.97	C:総費用(億円)	17.8	全体B/C	5.8	B-C	32.0	EIRR(%)	43
感度分析 (費用+10%、便益-10%)	B:総便益(億円)	93.57	C:総費用(億円)	19.58	全体B/C	4.8	B-C	74.0	EIRR(%)	32
評価の視点	評価の項目	評価の内容								
費用対効果の算定基礎となった要因の変化	費用対効果の算定基礎となった要因の変化	<p>費用対効果分析の結果、事業採択時の費用便益費を上回る結果が得られ、事業の効果が認められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の意識に与える効果(CVM):1.86億円/年(事業完了時) 0.35億円/年(事業進行時) 観光客の行動に与える効果(CVM):3.11億円/年(事業完了時) 0.88億円(事業進行時) 総便益:103.9億円(事業完了時) 25.7億円(事業進行時) 総費用:17.8億円(事業完了時) 16.5億円(事業進行時) 費用対効果:5.8(事業完了時)1.6(事業進行時) 								
	景観の刷新性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施により、歴史的な景観の修景が図られたとともに、まちなかの景観の刷新が実施され、街なかの回遊性を高め滞在しやすくなる景観が形成された。 								
	地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時的に観光需要が減少したものの、感染症の5類移行後、田辺市を訪れる観光客数は回復傾向にある。 モデル地区内や事業関連施設でのイベント開催の後押しもあり、関連施設・周辺施設の延べ来場者数は事業実施前後で増加し、まちなかにぎわいが創出された。 事業開始となった平成29年以降の駅前商店街の空き店舗率は、商店街全体の空き店舗率を下回り、地域活性化の効果が目撃された。 								
事業の効果の発現状況	その他の効果	<ul style="list-style-type: none"> 市街地活性化施設(tanabe en+)は地元産品を取り揃え、地域の魅力を観光客に対して発信するアンテナショップとしての機能を持ち、地場産業活性化に寄与している。 熊野古道へ訪れる観光客や訪日外国人等が終結する交通結節点として、待機時間の間に商店街等への回遊や観光が見受けられた。 								
	自然環境に対する影響	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の植栽や花壇を整備することで、玄関口として良好な市街地景観の維持が図られていた。 事業の従前従後における緑の状況の変化は見受けられず自然環境への影響は無かった。 								
	生活・居住環境等への影響	<ul style="list-style-type: none"> 地価への影響について、田辺市における駅前商業地の隣接地区の地価は微減傾向にあり、事業実施前の地価減少率の差が小さくなっていることから、土地需要の維持に寄与していることがうかがえる。 アンケート調査結果等により、道路の通行のしやすさやまちのバリアフリー化を評価する市民が1割から4割に増加し、事業が好意的に受け止められていると判断できる。 								
社会経済情勢等の変化	社会経済状況の変化	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度以降の観光動向に大きな影響が及ぼされた。しかし、令和4年度以降は観光入込客数が感染拡大前の水準に戻るとともに、関連施設・周辺施設利用者数等は、感染拡大前の水準を超えている。 								
	関連計画、関連事業の状況の変化	<ul style="list-style-type: none"> 関連計画、関連事業については概ね計画通りに遂行されており、関連事業の状況の変化が及ぼした影響は無いと考える。 								
	事業環境等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートや観光客等ヒアリング調査から、事業に反対する意見はほとんどないことが確認され、事業採択時から変化することなく、事業の必要性はあるものと判断される。 								
今後の事後評価の必要性	今後の事後評価の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果が5.8と1を上回る結果から、事業の投資効果が十分であることが認められる。 地域住民・観光客等アンケートから、事業に対する賛同や満足と回答した割合が上昇していることから、一定の事業効果が得られたと判断できる。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、観光客が一時的に減少したが、令和3年度以降、観光需要が回復傾向にあることから、事後評価の必要性はないと考える。 まちなかの活性化と景観まちづくりの推進に向けて、事後評価アンケート(市民・観光客等)の満足割合については、モニタリング等を実施し、事業のフォローアップや事業改善の必要性について検討していく。 								
改善措置の必要性	改善措置の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、多くの来訪者及び市民から賛同を得ている状況や、新たな課題も生じていないことから、改善措置は不要であると考えられる。 								
同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直しの必要性	同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直しの必要性	<ul style="list-style-type: none"> 同種事業の計画・調査の在り方について、見直しを必要とする事項はなく、事業評価手法の見直しの必要性はないと考える。 								
対応方針	・特になし。									
対応方針理由	—									
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容等></p> <ul style="list-style-type: none"> データ分析において、60年後の人口減少も考慮すべき。 地域の広い田辺市において、市民ニーズには居住地からの距離が大きく影響するため、地域別の分析が望ましい。 ハード整備で完了ではなく、ソフト事業を継続させていくこと、ボランティアガイド配置など、人材確保・運営体制の検証が必要。 市民・来訪者満足度の維持・工場のため、今後の関連事業においても、目標設定等の方向性の決定、継続的なモニタリングと検証が必要である。 									

(10) 成果取りまとめ

業務の目的を踏まえ、各段階で整理・検討された内容を基に、成果をとりまとめた報告書を作成した。また、収集・効果算出等に必要データは、電子データに格納した。